

# ホロライブの男性 VTuberの生活

蒼井えら

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

ホロライブ二次創作!!

ホロライブ初の男性V T u b e rとなった蒼井絵羅（あおいえら）はホロライブという舞台でどんな生活や仕事をこなすのか

ハーレム ギャグ たまにシリアスというまあふつーの小説

不定期更新となりますのでご了承ください

なおホロスターズは出ません!!!!

それとハーレムについてなんですがチャンネル登録しているV T u b e rをハーレムに組み込む予定なので誰がハーレムに加わるかは秘密です☆



第9話	歌姫	87	Myth登場	146	
第10話	ぶいすぽっ！お泊まり会	w	第17話	時の獄吏	152
ithおかえら	94	第18話	holoXとのマキブ		
第11話	新人とメイドとおっとり悪魔	103	第19話	あおぎり高校とコラボ	
第12話	大乱闘スマッシュホロ	165	第20話	妊娠	173
X	114	第21話	人外ーズ	178	
第13話	帰省と制度	121	第22話	おや？鷹嶺ルイの様子が	
第14話	迷った時は来た道を戻れ！		……?	183	
第15話	黒上フブキと愉快的な仲間	127	第23話	大代真白の新衣装	190
136			第24話	ハーレム一旦締切	197
第16話	ホロライブEnglish		第25話	ワーバーごぎるwith蒼	

井  
絵  
羅

第26話 ガンプラ仲間増やし

202

207

第27話 姉街

211

第28話 双子のワンワン

215



# 設定

## 設定力キカキその1

今回は設定ということでこの二次創作におけるホロメンや他のVTuber達の設定その1を力キカキしたいと思います

主人公 蒼井絵羅

種族：人間

肩書きはホロライブ初の男性VTuber!!

絆きらめく恋いろはの朱雀院椿と朱雀院都子の容姿を足して2で割ったような容姿

髪色は赤みがかつた青 瞳は右が緑で左が深緑

身長164cm 体重43kg

にじさんじオーディションに3回応募するものの3回とも落ちる

次で落ちたら個人で始めようとしていたところににじさんじの社長から話を聞いた谷郷元昭ことYAGOOが予定していた初の男性ホロライバーのオーディションを開催しようとしていた YAGOOにオーディションに参加しないかと誘われ見事合格してホロライブの仲間入りを果たす

誰にでも優しいのが長所なのだが優しすぎるため人からは心配されることもある

嫁1人目

獅白ぼたん 種族：獣人「ホワイトライオン」

ミリタリー系のジャンルが得意でFPSが大の得意でたびたび出る神エイムで視聴者を見惚れさせる程の腕前

絵羅とは小学一年生の頃からの大親友で良く遊びに行ったりFPSでの1on1をしたりと色んな遊びをしている

絵羅への恋心を持ったのは高校1年の時痴漢にあったのを助けられたのがきっかけいつものほんわかした絵羅とのギャップにキユンと来たようだ

ファンネーム：SSRB

嫁2人目

猫又おかゆ 種族：獣人「猫」

昔からの幼馴染で獣人族という理由だけで虐められていたが絵羅は獣人とか関係無しに接してくれていた

その後いつの間にか絵羅に恋心を抱いていた

一人暮らしをしていた絵羅の元におかゆが来たことから同居生活が始まる

YAGOOとえーちゃんはおかゆと絵羅が同居したその日に同居報告を受けていた



ファンネーム：おにぎりやー

嫁3人目

沙花叉クロエ 種族：獣人（鯨）

holoX（6期生） 秘密結社holoXの掃除屋

お風呂嫌いで1週間以上入らない事がさらにあったが絵羅と出会ったことで2日に1回は入るようになった 本人曰く臭いと嫌われるからだという 絵羅との出会いは海で絵羅が足を吊った時に助けに行ったのが出会い

その1ヶ月後、廃墟にて仕事を終え絵羅を残存した敵だと勘違いして攻撃を仕掛けるものの返り討ちにあい絵羅にお仕事（始末）がバレるが絵羅はその事を何も言わずさらにはクロエを怪我はないか心配してくれた

その優しさに触れそして強い絵羅に惚れた

ちなみに絵羅はCQC（近接戦闘術）を学んでいたので対処出来たと後に語る

ファンネーム：飼育員

嫁4人目

潤羽るしあ 種族：魔界人（ネクロマンサー）

元3期生

情報漏洩をしてしまい契約解除

やってしまったと本人は思っているみたいで今回起こした事を反省して個人Vになつてからは情報を流出させないよう今まで以上に注意するようになった

初めて会った時から絵羅を「貴方は運命の人！」と言われた

たまに遊びに来てはゲームやらなんやらしている

ファンネーム：ふぁんでつと

嫁5人目

魔乃アロエ 種族：サキュバス

元ホロライブ5期生

魔界の住人で歌姫を目指している

自身のやらかしでホロライブを辞めた

個人Vとして活動中

ホロライブを辞めてから半年たった頃

配信に遅刻しそうになつてる時曲がり角で歩いていた絵羅と激突 絵羅がバランス

を崩し倒れた際

アロエも倒れ唇と唇がふれあい2人にとってのファーストキスをしてしまう

ファンネーム：魔の友

嫁6人目

赤井はあと 種族：人間

1期生

破天荒なアイドル 自分のセンチテイブアートを見る配信をしたりタランチュラを食べたり洋楽オンリーの歌枠をしたりレパートリーが多い 絵羅とは中学2年生の時にはあとが中学1年生の時に出会っている

ファンネーム：はあとん

嫁7人目

八雲べに 種族：人間

ぶいすぽ所属

セクシー枠……まあ、半分お笑いセクシー枠感はない

絵羅とはえべまつり外伝で出れなくなった白雪レイドの変わりにらっだあチームに入ったことがきっかけで交流するようになった この時絵羅はまだ個人勢である

V最協の後一人呼び出された絵羅は八雲べにに告白された

前々から告白しようとは思ってたらしくししえらのお付き合い報告は衝撃だったみたいだ

ファンネーム：しもべに

嫁8人目

アンジュ・カトリーナ 種族：人間

にじさんじ所属公式美少女（自称）錬金術師

絵羅とは同じタイミングでオーディションを受けていた ファンネーム：賢者キッズ

……もとい F C L（意味 フル○○○リスナー）

嫁9人目

猫汰つな 種族：人間

ぶいすぽっ！のメンバー ○○ペックスがお得意

デビューしてから初の○○ペックス配信にてラストに絵羅と偶然マッチングしたの

が交流のきっかけとなる

ファンネーム：つな友

嫁10人目

鈴原るる 種族：人間

物静かで言葉遣いが優しい女の子

にじさんじの悪魔 でびでび・でびるを崇拜している

負けず嫌いで強敵には何度も何度も挑んだりしているにじさんじを引退し今は綾人

のガンブラ店で働いている

ファンネーム：なし

嫁11人目

A Z K i 種族：人間

カバー所属↓u p d 8 ↓イノナカミュージック↓ホロライブ ホロライブができる前からカバーに所属しておりu p d 8に加入

イノカナミュージック（ホロライブ）に入ってからもu p d 8が活動終了するまで所属し続けたそしてイノナカミュージックのプロジェクトが終了した後はホロライブ0期生として移籍した

絵羅とはときのそらと同じく握手会で会った程度

絵羅の歌声に惚れぼれしている

ファンネーム：開拓者

嫁12人目

犬山たまき 種族：獣人（犬）

のりプロ所属 可愛らしい見た目をした男の娘

交流はたまきからのコラボ対談を持ちかけられた頃から

なぜ男が嫁枠に入ってるかと言うと同性婚が一夫多妻制と共に解禁されたから

ファンネーム：たまきんズ

嫁13人目

オーロ・クロニー 種族：人間

生真面目ではあるのだが一度ツボに入るとゲラったりクールなイメージとは裏腹におつちよこちよいな人である

クロニーと初めてコラボしたJPは絵羅である

ファンネーム：Kronies

嫁14人目

尾丸ポルカ 種族：獣人（フェネック）

サーカス団の団員 サーカスの団員らしくエンターテインメントにとんだ配信をしており持ち前の明るさでリスナーを元気にしていく 絵羅とは絵羅がデビューする2日前に出会う

ファンネーム：座員

嫁15人目

ベスティア・ゼータ 種族：人間

シークレット・アーカイブ・ユニットの構成員

コードネームはV・7 可愛い外見と声そして毒舌な性格と可愛いを詰め込んだかのような女性

髪型は独特であり原神の刻晴みたいなたけのこ付き

ファンネーム：Z e c r e t a r y

嫁16人目

高嶺ルイ 種族：獣人（鷹）

h o l o x の女幹部 元ヤンキーで元ブラック企業にいた事がある

ホロライブメンバーの中でもかなり仕事ができる その反面PONが多い時もある  
のでかなり親しみやすい

絵羅とは絵羅がホロライブにオーディションを受けに来た時すれ違ってあいさつし  
た程度である

ファンネーム：ルイ友

嫁17人目

大代真白 種族：人間

あおぎり高校の3年生 自称17歳

マシユマロ大好きとの事だが実際にはおピールに合うようなおつまみ系が好き

ファンネーム：ドナー

まだ増える予定ですので増えたら少し話数書いたらまた書いておきます

## 番外編

### 番外編 その1 さくらみこの想い人

みこ宅

ピンポン

トビラ開ける

みこ「らっしやせー」

絵羅「来たぞみこーち」

桜神社の近くにみこちが住んでる家がある

そこにお邪魔する絵羅

リビング

絵羅「んで？どした 相談あるっつてたけど」

みこ「その：好きな男子がいるんだけど：誘い方が分かんのだ」

絵羅「そういうえば配信で言ってたよな」

みこには好きな人がいることを配信で暴露 コメント欄が一気にざわついた

絵羅「誘い方ねえ：んー 勇気を出して言うしかないよなあ」



みこ「ふつつーの考えだにえ」

絵羅「うるせえw 告白したのしろんへの恋心気づいた時なんだもん 仕方ねえ

よ

みこ「言われてみればそうだったにえ…」

プルルルルル

みこのスマホが鳴る

みこ「出るにえ」

絵羅「おk」

みこ「もしも……………えっ あっ！うん！行く！絶対行く！うん…うん……じゃあ明日

！

電話切る

絵羅「もしかして遊びのお誘いでも来たんか？」

みこ「その通り！」

絵羅「おー」

みこ「明後日が楽しみ」

約束の日

みこ「……………」

ド緊張してるみこ

千賀「お待たせー!!」

みこ「来ちゃ♪」

千賀「早いな来るのまだ約束の時間まで25分はあるぜ？」

みこ「2人つきりのお出かけが嬉しくてつい：（・>▽<・）ゝ」

千賀「でもそれほどまでに楽しみにしてたんだな よーし！今日はたつぷりと楽しもうぜ！」

みこ「おー！」

蒼井千賀

蒼井絵羅の双子の弟

みこと1番遊んでる男性である

お節介で良くみこの世話とかをしているので巫女と執事ってコンビ名までついてしまうほどみことは仲良し

今はみこの専属マネージャーとして働いている

さくらみこの想い人

千賀「遊園地に行くぞー」

みこ「いえー」

お化け屋敷

みこ「……………ここ行くの？」

千賀「おう！」

みこ「……………怖いのかなんだけど」

千賀「僕がいるから安心しろって」

みこ「む…頑張ってみますか！エリートだし！」

お化け屋敷内部

みこ「ど、どっからでもこー……………いい」

お化け役「うおー」

みこ「びみやああああ!!?!」

千賀「ほあああ!!」

みこの叫びに驚く千賀

半分すぎた頃

みこ「こうわ……………」

千賀「みこの叫びでビビってるな俺」

みこ「ご、ごめんね…？」

千賀「いいよ 連れてきたのは俺なんだし怯えてるみこは可愛いなとか思ってる」

みこ「はうΣ（／＼ω／＼）」

照れるみこ

お化け屋敷終了

みこ「怖かったけど千賀のおかげで少し楽しめた」

千賀「それはなにより…まあ次ここに遊びに来る時は寄らないようにするよ」

みこ「そうしてくれると嬉しいにえ…」

レストラン

みこ「えーとみこ、コレとコレ…:で」

千賀「俺はステーキとご飯にしよ」

料理を頼んだ二人

千賀 ガーリックサイコロステーキ＋ご飯

みこ サラダとハンバーグ

食べ終わったあと

みこ「ちよつと多すぎたにえ…」

千賀「グラム指定の項目あったぞ」

みこ「あつ…:グラム指定忘れてたわ…」

歩きの最中

みこ「ねえ……？」

千賀「どうした？」

みこ「なんで今日誘ってくれたの？」

千賀「ん？ああ……福引やつたら遊園地ペアチケットが当たってな 最初は兄貴に渡そうと思っただけだけどそれはお前のものだ、誰か誘いたい人いねえーの？って言われたのさ そしたらみこが真っ先に浮かんでな 誘ったって訳」

みこ「ほーん……ふふ」

千賀「え？僕なんか変な事言ってた？」

みこ「ううん……真っ先にみこを思い浮かべてたってこと言われたの嬉しいなって……ありがとうね千賀」

千賀「お、おう／＼」

遊園地を思いっきり楽しんだ二人

みこ「今日は楽しかったよ ありがとう千賀」

千賀「最後に行きたい所あるんだが……」

みこ「良いよ いこ♪」

展望台

みこ「うおー 夕陽綺麗ー!!こんな所あったんだー!!」

千賀「そうなんだよ この夕陽見るのが好きなんだよね！」

展望台から見える景色は壮観で絵に描いたかのような景色が広がっている

みこ「ここで告白する人いるのかな？」

千賀「たまに来ると告つてる人は見かけるとな 良いロケーションだし告白する場所にはピッタリだ」

みこ「ふーん……」

しばらく夕陽を見続ける二人

みこ「ねえ……」

千賀に話しかけるみこ

千賀「どうしたー？」

振り向いた千賀の目には真剣な眼差しのみこが映った

みこ「今日……千賀に言いたい事……あるんだけど良い……？」

千賀「……なんだ？」

深呼吸を何回かするみこ

みこ「ふうー……あのね？」

千賀「ああ……」

みこ「みこね……初めて会った時からさ 良い奴なのかなって思ってた」

千賀「うん」

みこ「実際に関わってきて…みこの事良く見ててみこの気持ちにも寄り添ってくれて…とつても嬉しかったんだよ」

千賀「そうか…僕はなんか初めてみこを見た時から…アホな子だつて思つてた」

みこ「うおい！………事実だから反論出来ねえ…」

千賀「んでその時からなんかさ…みこの事放つておけなくて世話焼きみたいな事してたなつて…それでいて優しいし可愛いしそれこそたまに美人に見えたりしてた」

みこ「ふえっ／＼／」

千賀「関わつてて飽きないなつて…話ちよいそれだけどまだ言いたい事あるんだよな？」

みこ「うん　じゃあ改めて…」

みこは自分の想いを言った

みこ「みこね………中学2年の頃からずっと好きでした！付き合つひ………舌噛んだあ………」

千賀「締まらねえなおい」

みこ「てへ」

千賀「でも…僕の事好きつて事………なんだな　その言葉から察するに」

みこ「当たり前 答えは……どう？」

不安そうに千賀の顔を見るみこ

千賀「……答えは」

息を飲むみこ

千賀「僕は……中学1年の頃から……ずっと……みこの……さくらみこの事好きだ！」

みこ「…………やった……」

緊張の糸が切れたのかその場にへたり込むみこ

千賀「大丈夫？」

みこ「大丈夫……告白するのめっちゃ緊張してただけだから……ありがとう千賀………みこ

嬉しい」

千賀を見上げるみこの目には涙が

千賀「立てる？」

みこ「じゃあ……起こして」

手を伸ばすみこの手を取り立たせ、そして

みこ「んっ……♥」

千賀はみこを引き寄せキスをする

それも……大人なキスを



キスし終えた後

千賀「さくらみこさん…結婚しよ」

みこ「うん…しよ 蒼井千賀さん…」

またキスした二人

さくらみこ配信

みこ「えつとね 緊急でお知らせしたい事があつて…」

コメント欄「ついに…?」「彼氏来た!」「どっちだ?」

みこ「私、さくらみこは前に言つてた想い人の男性とお付き合ひすることになりました  
たー！！！」

コメント欄「来ちやアアア!!」「みこちおめでとー！！！！」

みこ「お相手は…みこの専属マネージャーです！幼馴染です！」

コメント欄「漫画かよ!」「漫画みたいな展開が現実!?」

みこ「そう！漫画みたいな事が起きたんよ！テンション爆上がりだったにえ」

しばらく喋った後

みこ「…つてことで今回の報告配信は彼氏が出来たという報告配信でした でも！みここの配信スタンスは変わらないので安心してくれだにえ それではおつみこです！ばいばい」

## 番外編 その2 昔のいじめっ子との再開と吸血鬼と

絵羅「(ひ・ω・ま)」

おかゆ「んじゃあ散歩にでも行きますかー」

ぼたん「私もー」

自由気ままな散歩中

おかゆ「たまには自由気ままに散歩するの悪くないねー」

ぼたん「思わぬ出会いがあったりしてな」

おかゆ「僕を虐めてた人に会いそう トラウマとかではないから別に会っても大丈夫

なんだけどね」

絵羅「なる」

曲がり角から人が出てきた

そこにはおかゆの見知った人がいた

??「あっ」

おかゆ「敦貴くーん」

敦貴「よっ……よう……」

バツが悪そうな男の名は有村敦貴種族：人間

おかゆを虐めていた人達の中の一人

なんとなしにおかゆを虐めてたがなんで虐めてるんだろうとふと思ひ虐めを辞めた  
謝った次の日に転校した

おかゆ「久しぶりー」

敦貴「お、おう 久しぶり」

おかゆ「あれからどう？」

敦貴「あー その 転校した後俺虐められてたんだよな」

おかゆ「マジか」

敦貴「ああ、虐められるのってあんな大変なんだな」

おかゆ「メンタルは？」

敦貴「まあ、おかゆと話してたから何とかね」

絵羅「大変だったんだな」

敦貴「うい」

その後今はどんなことをしているのかという話をする

敦貴「え、また増えたの？」

おかゆ「そうなんだよー 罪作りな男だよねー」

ぼたん「わかるわー すんごいモテるんよ あいつ」

絵羅が他の友達に話に行ってる間話す3人

敦貴「モテるのうまやら……じゃなくて羨ましい」

おかゆ「そういうえば好きな人いるって聞いたけど告白したの？」

敦貴「したにはした 返事待ち」

おかゆ「ほほう」

敦貴「ちなみにおかゆに虐めしてたの知ってる子でさ まあ、正直望み薄ってゆーか

…

ぼたん「あー まあどんな返事が来てもいいようにどっしり構え取ればいいぞ」

敦貴「アドバイスありがとうな」

??「いたー」

ぼたん「あれは…!」

敦貴「あ、来た」

メル「お待たせーまつ…あるえ？絵羅君達だー」

絵羅「メルっちー」

夜空メル 種族：吸血鬼

吸血鬼だけど血が苦手 血の代わりに愛飲しているのはアセロラジュース

自分は天才バンパイアとは言ってるがポンが多い

絵羅とは蒼井絵羅歓迎会にて少し喋った程度

フアンネーム：かぷ民

絵羅「もしかして敦貴の告白した人って」

メル「メルだよ　まあ、今は友達からってね　買い物行くのー」

絵羅「生殺しでは？」

敦貴「まあ、答え考えてくれるだけまだいいよ」

ぼたん「んじや私らは散歩の続き行ってくるでな」

敦貴「おけ」

絵羅「じゃあの」

去っていく絵羅達

敦貴「……」

メル「久しぶりに会ったけどどうだった？」

敦貴「なんか…ずるいよね　嫁さん美人揃いだもん」

メル「ふーん　まあ、メルはバールム禁止にするけどね」

敦貴「そろそくだ　ぼたんさんが寛容だから出来たことだもん」

メル「だね」

敦貴「とにかく友達として買い物行こうぜ」

メル「OK」

その後 メルの行きたい場所に連れ回された敦貴はへトへトになりメルの家で休む事にした

メル「お疲れ様 はい 麦茶」

敦貴「ありがとう ゴックゴック はふうー 美味し」

メル「……………ねえ」

敦貴「ん？」

まっすぐ敦貴を見つめるメル

敦貴「どした」

メル「もー一回メルを好きになった理由教えて欲しいな」

敦貴「改めて…か 分かった」

敦貴がメルを好きになった理由を話す

敦貴「最初に容姿が好きになってな まあ、容姿が良くても性格が悪いとかあるから友達になってお互いの事知ってあわよくばお付き合い…とか思ってた」

メル「なる」

メルの目を見て

敦貴「楽しく過ごしてくうちに性格も好きになってきて夢にメルが出てくるようになってきてあ、本気でメルの事好きなんだなって自覚するようになったんだよね」

メル「そうなんだ…ふふ」

敦貴「だから改めて…メル…好k…」

その言葉を言う前にメルは敦貴の唇にキスをして舌を絡めとりディープキスをした唇を離す

敦貴「いきなりされるのはちよつとびっくり」

メル「えへへ ごめんね でも、これでも外でキスするの我慢してたんだからね」

敦貴「なるほど…キスで告白OKって感じか ありがとう」

メル「うん 昔は悪い人だったのは分かってる でも、今反省してそれでいてその虚めてた人と仲良くやってるの見て安心した」

敦貴の目を見て

メル「キスでOK出しちゃってけど言葉で…敦貴、愛してる♥」

敦貴「おう！」

## 番外編 その3 天使とドラゴン

かなた「ねえ、ココ」

ココ「どうした 天使公」

お茶飲むココ

かなた「好きな人おるん？」

ココ「!?こっ…ケホケホっ」

かなた「おおお 大丈夫か??」

ココ「変なこと言うからだっ」

かなた「えー??」

桐生ココ 種族：竜族

人間の交流をしたくなり自分の住むところから移住してきたドラゴン

仁義、任侠を重んじる優しいドラゴンさんである

ドラゴン形態にはなれるものの変身してしまうと街が壊してしまうのでしない

ファンネーム：たつのこ

天音かなた 種族：天使



天界学校に通う天使

恥ずかしがり屋の性格

歌がとても上手くロングトーンもお手の物

その歌声はまさに天使

ファンネーム：へい民

あなた「で？どうなん??」

ココ「……いる」

あなた「どんな人ー？」

ココ「中谷晶哉」

あなた「えっ あいつ？」

ココ「うん」

中谷晶哉 種族：エルフ

母親がエルフで父親が人間のハーフ

見た目はヤクザだがいたって普通の優しいエルフ

あなた「どこに惚れたん？」

ココ「えーと、つり目気味の目に桐生ちゃんみたいな声質とガタイの良い体してるし

性格も凄く優しくそこに」

かなた「たーしかに良い要素ばっかだよな　へー」

ココ「好きな人の事言うの恥ずいなっ（／＼／＼／）（テレビリ）」

かなた「んじゃあココの好きな人の話も聞けたし……僕も言うよ」

ココ「ワタシだけじゃ不公平だから　かなたはだ r …」

かなた「ココと同じ人」

ココ「（・▽・）What? 同じ人好きになった系?」

かなた「うん　理由は桐生一馬さん声を覗いてはココと一緒にだよ

」

ココ「そうか…ほーん　じゃあさ…」

かなた「するか　告白！一緒に！」

かなた「はあああいい!?!」

ココ「一緒に告白すれば裏でこっそり付き合っていた!!?なんてならなくて済む！」

かなた「確かにそうだね　うん!しよ！」

ココ「よしやー」

2日後

ココ「……………勢いで言ったが…」

かなた「今となつては恥ずかしいね…」

晶哉「すまん 待たせたか？」

2人「ううん、 今来たところ」

晶哉「なら良かった 話を聞かせてもらおう」

2人は声を合わせ

2人「ワタシ（僕）！ 晶哉の事が好き!! 付き合ってください!!」

晶哉「…その」

ココ「ん？」

晶哉「ココとあなた2人同時に好きになってるんだ俺」

2人「なんととおお!!?」

晶哉「だから2人を幸せにするから…いいか？」

あなた「もちろん！」

ココ「ぜってえしろよな!!」

晶哉「おうよ」

2ヶ月後

絵羅「んで、もう子供出来たんかーい！」

あなた「うん♥」

ココ「私はまだだから気長に待つぜえ」

結婚発表した時  
晶哉の容姿を見て心配された

## 本編

## 第1話 新人V T u b e rの初日

?? 「マジで入るんだな……ホロライブ」

1人の男子がホロライブ事務所前に立っていた

?? 「ホロライブ初男性V T u b e r……どんな試練が待ってるんだろうな よし！ 蒼井  
絵羅！ 行けぜ！」

その男の名は蒼井絵羅（あおいえら） 男だが女の子みたいな顔をしている男子だ

絵羅 「おはようございますー」

??? 「新人さん来ちゃー」

絵羅 「初めまして新人の蒼井絵羅です よろしくお願ひします」

フブキ 「初めまして白上フブキです よろしくお願ひします」

絵羅が事務所のオフィスに入ると大先輩である白上フブキがいた

白上フブキはホロライブの1期生の狐さん 種族：獣人（狐）

ファンネーム：すこん部

白上フブキ「いやーまさかホロライブ初の男性V T u b e rが誕生するとは……時代も

変わりかねえー」

絵羅「かもしれませんね」

フブキ「もしかして緊張はしてない感じ？」

絵羅は首を横に振る

絵羅「それでもバリバリ緊張してます」

フブキ「それはそうだよねっ 冷静だったから…」

絵羅「緊張するほど冷静になるタイプみたいですよ」

フブキ「そうなんだ 珍しいタイプだね」

絵羅「はい」

Aーちゃん「おはようございます お2人共」

絵羅「あ、おはようございます」

フブキ「おはよー」

友人A「愛称 えーちゃん」

えーちゃんはホロライブの裏方担当さん 種族：人間

えーちゃん「色々教えている事があるので別室行きましょう」

絵羅「了解です では、失礼します」

白上フブキ「はーい♪」

仕事の内容を確認した後

えーちゃん「どうでした？話しかけた感想は」

絵羅「話かけやすかったですね 気さくな狐って感じでした」

えーちゃん「あれでも緊張してたんですよ 少し声震えてましたし」

絵羅「最初はそんなものですよ」

えーちゃん「絵羅さんはどうなんです？」

絵羅「あんな可愛い顔を見てたら少し緊張しましたw」

えーちゃん「そうなんですわね：あ、少し喋り過ぎましたね」

時刻は18時をさしていた

絵羅「お疲れ様でした それでは」

えーちゃん「お気をつけて」

蒼井宅

玄関にて

絵羅「ただいまー」

ガチャリ扉を開けると

???「ご飯にする？お風呂にする？それとも：わ・た・し？」

絵羅「何やってんすか おかゆ」

おかゆ「新妻ごっこ？」

絵羅「さいですか…つてかご飯作れたのか？」

おかゆ「頑張つてちよこ先生に習った」

絵羅「ちよこ先生かー すごいえば料理上手だったな」

猫又おかゆ 種族：獣人（猫）

ゲーマーズ

数年前から絵羅とおかゆは同s：同居している

昔からの幼馴染で獣人族という理由だけで虐められていたが絵羅は獣人とか関係無しに接してくれていた

その後 一人暮らしをしていた絵羅の元におかゆが来たことから同居生活が始まった 理由は頼れる人だから 現在 絵羅に惚れている

少し前におかゆが配信で同居してる男子がいると発言しおかゆのガチ恋勢が阿鼻叫喚したとかしてないとか

ちなみにYAGOOとえーちゃんはおかゆと絵羅が同居したその日に同居報告を受けていた

ファンネーム：おにぎりやー

話に出ていたちよこ先生というのは癒月ちよこの事である



癒月ちよこ 種族：悪魔

2 期生

悪魔界の保険医 甘いボイスで大人なお姉さんであるが少し天然であつてうっかりすることもある 大人な、でも可愛い悪魔

料理は人並みに上手くたまに料理コラボ配信することもある

フアンネーム：ちよこメイド

おかゆ「ねー 今日一緒に寝よー」

絵羅「ホロゲームーズコラボでしょ今日 終わったら…まあ、勝手に布団の中に入つとけ」

おかゆ「わーい 絵羅大好きー」

絵羅「はいはい さ、ご飯食べよつか」

おかゆ「りようかーい」

ゲームーズコラボが終わった後おかゆは絵羅の布団に忍び込んで一緒に寝た

## 第2話 ねぼらぼwith絵羅と引退V

初めての配信から15日が経過したある日

絵羅はホロライブ第5期生であるねぼらぼと共に買い物にでかけていた

ぼたん「やー ごめんねー 急に呼び出してー」

絵羅「別に暇だったし大丈夫よん」

ポルカ「大量に買うから覚悟しとけよー♪」

ラミイ「お酒買うぞー!」

ねね「お酒はラストだよ ラミイ」

ラミイ「分かってるー!」

5期生(ねぼらぼ)

桃鈴ねね 種族：人間

5期生オレンジ担当、明るく元気ハツラツ

少し前までは語尾にアルをつけていたのだがたまに語尾を忘れてたりとかしていた為

辞めたらしい

下ネタに寛容

中学生の時、道に迷っていたところ絵羅に助けられその後友達になる  
ファンネーム：ねっ子

尾丸ポルカ 種族：獣人（フェネック）

サーカス団の団員

サーカスの団員らしくエンターテインメントにとんだ配信をしており持ち前の明る  
さでリスナーを元気にしていく

絵羅とは絵羅がデビューする2日前に出会う

ファンネーム：座員

雪花ラミイ 種族：ハーフエルフ

雪国出身のハーフエルフ

雪の一族の令嬢である

テーマパークでねねの分を忘れてビール二本買いしてたりするほどお酒が好き 雪  
月花というお酒をプロデュースした

夜道でストーカーに襲われそうになるが絵羅が助けた事で免れた

その後はたまにお酒を絵羅と飲んだりしている

ファンネーム：雪民

獅白ぼたん 種族：獣人（ホワイトライオン）

ミリタリー系のジャンルが得意でFPSが大の得意でたびたび出る神エイムで視聴者を見惚れさせる程の腕前

絵羅とは小学一年生の頃からの大親友で良く遊びに行ったりFPSでの1on1をしたりと色んな遊びをしている

ファンネーム：SSRB

絵羅「んでそれぞれ何買うの？」

ぼたん「私はお菓子とか買える値段だったらエアガンとか買いたい」

ねね「ねねはお菓子とか：とにかく色々な物買いたい」

ポルカ「私はねえー シャンプーとかボールペンやお菓子買う」

ラミイ「ラミイは：お酒とおつまみとマウスパッド買いたいな」

絵羅「俺は特にない」

最初に行ったのはイオンである

絵羅「相変わらず品揃え豊富でエアガンコーナーやら日用品コーナーやら電化製品やらペットショップやら色々あるな」

ラミイ「結構欲しいと思ったもの売ってるもんねー 重宝してるよ」

ぼたん「それじゃあエアガンコーナー行ってくるね」

絵羅「了解ー」

ぼたんはエアガンコーナーへ

ポルカ「先に何買う？」

絵羅「まあ、普通にお菓子だな」

ねね「それじゃあ行こう！」

お菓子売り場へ

ねね「何買おっかなー♪」

ポルカ「チョコレート類は最後に選ぼうぜー」

ラミイ「その方がいいかもね」

ねぼらの3人はお菓子を選び中

絵羅は明日買うものを予めメモしている

絵羅「んーと お肉で…刺身…：…玉葱…人参…葱つと」

メモし終わり振り向くと

???「あっ…」

絵羅「…」

魔乃アロエがそこにいた

絵羅「…ひ、久しぶり」

アロエ「う、うん」

魔乃アロエ 種族：サキユバス

元ホロライブ5期生

魔界の住人で歌姫を目指している

とある理由で1年前にホロライブを辞めた

最近は個人で活動中（本小説独自設定）

ファンネーム：魔の友

アロエ「：元気そうでなりよりです」

絵羅「すこぶる元気だぜ」

アロエ「あの時はほんとにごめん…」

絵羅「ああ、あのことか、いいよ 過ぎたことだしな」

ホロライブを辞めてから半年たった頃 配信に遅刻しそうになってる時曲がり角で

歩いていた絵羅と激突

絵羅がバランスを崩し倒れた際 アロエも倒れ唇と唇がふれあい2人にとっての

フアーストキスをしてしまう

あれ以来会ってはいなかった

アロエ「じ、じゃあ私も気にしないようにする…」

絵羅「配信頑張れよ」

アロエ「あ、ありがとう…で、では…」  
アロエは去っていった

絵羅「…戻るか」

お菓子コーナー

ねね「買うお菓子全部決まったよー」

絵羅「おうよ」

お菓子購入完了

ねね「ところで誰かと話してた??」

絵羅「魔乃アロエ」

ねね「なーほーね」

ポルカ「買って来たぜー!」

ポルカ　ボールペン　シャンプー購入

ラミイは飲むお酒を選んでいる

ぼたん「特に欲しいもんなかったわー」

絵羅「そうか」

ラミイ「じゃあこれ飲もー」

お酒、おつまみ購入

マウスパッドは買わずに買い物を終了させ絵羅は全員を送っていく事にした

ラミイ宅

ラミイ「今日はありがとう ばいばい」

絵羅「その酒の感想聞かせろよな」

ラミイ「はい」

ポルカ宅

ポルカ「今日はいいい買い物できたぜ！」

絵羅「1日に食べる個数はちゃんと考えろよ」

ポルカ「絵羅は私のオカンかw」

絵羅「はははw」

自分用のお菓子を持ち帰る

ねね宅

ねね「楽しかったよー 待ったねー！」

絵羅「おうよ！」

ぼたん「やー 今日収穫無しだったなー」

絵羅「そんな時もあるだろ 俺は明日買うものはメモしておいたぜ」

ぼたん「昔っから買いたいものはメモってるよなー 小学何年生の頃からその癖つい



たんだっけ」

絵羅「昔欲しいガンプアあったんだけど当時高いから買えなかったから欲しいガンプ  
ラ片っ端からメモっててそれだったら欲しい物をどんどんメモっていいのかなって  
思ってたんだよな」

ぼたん「あー いい心がけじゃん」

絵羅「でしょー……ん？」

ぼたん「どしたん？…あつ、アロエちゃん」

アロエ「ししろん…久しぶり」

ぼたん「元気してたー？」

アロエ「うん、元気してたそっちは？」

ぼたん「元氣100倍たぞ！また今度遊ぼうな」

アロエ「うん」

ぼたん帰宅

絵羅「…」

アロエ「…」

絵羅「家送ってやろうか？」

アロエ「え、えといいの？」

絵羅「だってもう7時だぜ？さすがに送っておかないと危険かなと」

アロエ「優しいんだね」

絵羅「お人好しとも言われたけどな」

2人で歩く

アロエ「そういえばホロライブ入ったんだね」

絵羅「おう いやー なかなか緊張した」

アロエ「確かに面接とか歌とかある程度歌えないと行けないしね

がんばったんだな」

絵羅「うん♪」

アロエ宅

アロエ「送ってくれてありがとう」

絵羅「どういたしまして じゃあ俺はこれで」

振り向いて動く絵羅

アロエ「あ、一つだけ質問いいですか？」

絵羅「はいはいなんですしよ」

振りかえった後アロエの顔を見ると少し頬が赤い

アロエ「そ、そのさ……」

絵羅「うん」

アロエ「好きな人いるの？」

絵羅「居ないなー 恋愛対象として見る要因が自分でも分かってないんだよなー だから恋愛対象として好きな人は居ないよ」

アロエ「そうなんだ…」

絵羅「なんでこんな事を聞いたのか気になるんですが」

アロエ「それは…その…」

絵羅「うん」

アロエ「…一目惚れした」

衝撃の一言

絵羅「…………マジ…?」

アロエ「マジ」

絵羅「そ、そうか」

アロエ「あ、えと」

絵羅「……友達からまずは始めよか お互い知らないし」

アロエ「あ、それもそうだよね うん」

絵羅とアロエはお互いの番号を教え合う

アロエ「じゃあ バイバイ」

絵羅「おう」

アロエ帰宅

絵羅宅

絵羅「たでーまー」

おかゆ「おかえりーん♪」

抱きつくおかゆ

絵羅「なんだ？今日は甘えたい日か？」

おかゆ「うん♪お風呂一緒に入ろーよー」

絵羅「水着着用でな」

おかゆ「おけー」

たまにおかゆは甘えたい日がある

その日はとことん甘やかせる絵羅

もはや夫婦と同じぐらい仲がいい2人だけど付き合っではいない

その日は一緒に寝た

### 第3話 恋愛について考える蒼井絵羅

絵羅「……恋愛かぁー」

魔乃アロエに告白された日から絵羅は恋愛について考えていた

生まれてこの方20年、彼女が居ない+告白したことないのでそもそも恋愛について考えることがなかったのである

絵羅「好きとは言われたが…ふむう……」

えーちゃん「どうかしました？」

絵羅「あー、実はねー」

えーちゃんに事の経緯を話す

えーちゃん「アロエさんから告白されたその日から恋愛について考え出したんですねー」

絵羅「そうなんだよねー 好みのタイプはあるけど…」

えーちゃん「どんなタイプ？」

絵羅「そうだねー優しくて気配り出来て…うーん 性格が良い子」

えーちゃん「それが理想のタイプ…と」

絵羅「理想はそうだけど…あくまで理想だしな」

えーちゃん「まあ大いに悩めばいいと思いますよ？自分の恋愛の価値観なんて自分自身にしか分かりませんから」

絵羅「うん そうだね とりあえず自分なりの答えを見つけよう」

えーちゃん「頑張つて♪」

絵羅「うん」

えーちゃん「仕事に戻る」

絵羅「家に帰ってから考えよう」

帰宅

絵羅「お？」

おかゆの靴以外に靴が2足あった

絵羅「ただいま」

おかゆ「おかえりー」

るしあ「おかえりなのです お邪魔してます」

ころね「よお！」

潤羽るしあ 種族：魔界人（ネクロマンサー）

元3期生 かくかくしかじかで3ヶ月前にホロライブを引退（という名の契約解除）

やってしまったと本人は思っているみたいで今回起こした事を反省して個人Vになつてからは情報を流出させないよう今まで以上に注意するようになった

初めて会つた時から絵羅に「貴方は運命の人！」と言われた

たまに遊びに来てはゲームやらなんやらしている

ファンネーム：ふあんでつと

戌神ころね 種族：獣人（犬）

ゲーマーズ

人懐っこいワンワン 方言訛りが強い事で可愛さ倍増

笑い方は少し独特 きやつはつははは、みたいな感じで

お散歩コースで歩いていたら時に通り雨が降り困っていたところを絵羅に助けられて

から絵羅との交流が始まった

ファンネーム：ころねすきー

絵羅「楽しそうにゲームしてるな」

ころね「絵羅もやるー？」

絵羅「んにゃ ちよつと考え事したいなと」

おかゆ「あー 先週の事？」

絵羅「うん」

ころね「何かあったの？」

絵羅「いやー女子から久々に告白されたから恋愛について考えてた。もちろんるしあの言葉もまじえて」

るしあ「るしあのあれ覚えてたんだね」

絵羅「そりゃ☒貴方はるしあの運命の人！☒なんて言われたら告白以外のなにものでもないよw」

るしあ「それもそうなのですw」

絵羅「まあとりあえず…やっぱり一旦考えるの辞めてゲームするわ」

ころね「やろやろーカービィのエアライドやるで」

おかゆ「おっけー♪」

2時間後

るしあ「待って絵羅強すぎない??」

絵羅「小学2年からずっとやってるからなー慣れてんのよ」

おかゆ「クリアアツッカー見よ」

全モードクリアアツッカー埋まっていた

ころね「ガチ勢やん！」

絵羅「まあね！」



るしあ「ではそろそろるしあは帰るのです」

ころね「こねも帰るぞ〜」

絵羅「気をつけてな」

るしあ ころね「はーい」

るしあ ころね帰宅

おかゆ「…」

絵羅「おかゆ？」

おかゆ「あ、なんでも………1ついい？」

絵羅「なんだ？」

おかゆ「一夫多妻制が日本にできたら………どうする？」

絵羅「え、そうだな……え、どうしょ あーでも…」

おかゆ「でも……？」

絵羅「最初に嫁になる人と相談かな 人数多すぎたら1人目の嫁とイチャコラする時

間減るし…」

おかゆ「まあ、そうだよね」

絵羅「とりあえず好きな人が出来たらおかゆにも教えるね」

おかゆ「ん 了解」

結局恋愛についての考えはまとまらなかったため  
一旦恋愛については考えるのは辞めた絵羅であった  
おかゆ「……告白しなきゃな……」

## 第4話 彗星と巫女とシヤチと鷹と事故

絵羅「ぬぬぬぬぬぬぬ」

ホロライブ事務所

何故か絵羅はそこでトランプタワーを作っていた

絵羅「あと少し……」

扉がバーン！開かれた扉の衝撃でトランプタワーが崩れた

すいせい「彗星の如くあらわ……あつ」

絵羅「……」

フリーズする絵羅

すいせい「……」

Y A B E っ て 顔 して る

絵羅「すいちゃん……」

すいせい「あ、ごめん」

絵羅「そんな勢いよくドア開けたらぶつ壊れるかもしれないじゃん!!ドアに優しくし

ろ!!」

すいせい「怒るところそこ!？」

絵羅「そうだよ!!？」

すいせい「…次からは気を付けるね」

絵羅「よし」

星街すいせい 種族：人間

個人勢↓S：gnal↓イノナカミュージック↓ホロライブ

ホロライブメンバーの中で屈指のテトリスの腕前を誇りホロライブでは最強の部類ではないかと個人的に思っている

言動が若干サイコパスなこともあるが基本的には元気で今では歌姫なんて呼ばれるぐらい歌が上手い

個人勢として頑張りイノナカミュージックに入りホロライブに加入し0期生として活動中

絵羅とはS：gnalを辞めて3日後に落し物を探していた時に出会う

電話番号とかを交換しあい度々遊ぶようになっていた

ファンネーム：星詠み

暇なので2人で神経衰弱をやる

すいせい「聞きたいんだけどさー」

絵羅「何？」

すいせい「なんでホロライブ入ろうと思ったの？」

絵羅「歌好きだしゲーム好きだし雑談好きだしなにより友達と話すのが好きだからまあ、それを言ったらにじさんじでも良かったんだけどね」

すいせい「ほむほむ」

絵羅「んで、にじさんじオーディションには3回ぐらい落ちた 上には上がいた で、次でオーディション落ちたら個人でやっていこうかなって思った時にたまたま出会ったYAGOOに初の男性VTubeのオーディションやるから出てみる？ って言われて受けたら合格したんだよね」

すいせい「じゃあYAGOOからの誘いが無かったらホロライブには入ってなかったんだね」

絵羅「うん だからYAGOOには感謝してる」

すいせい「すいちゃんも何度もホロライブ落ちた後YAGOOにイノナカミュージック加入させて今では立派にホロライブやれてるからYAGOOには感謝だね」

絵羅「感謝の気持ち大事にしないとね」

すいせい「というわけで神経衰弱終わり！結果は？」

すいせいWIN

絵羅「だー！負けたー！」

すいせい「o(´・ω´・+o) ドヤア……！」

絵羅「でもあと1セット差だったのかあ」

すいせい「危ない危ない」

クロエ「お邪魔しまーす♪」

絵羅「邪魔するなら帰ってー」

クロエ「はーい……ってなんでやねーん！」

すいせい「良いツツコミだ」

クロエ「ありがとうございますー♪」

沙花叉クロエ 種族：獣人（鯨）

holoX（6期生）

秘密結社holoXの掃除屋

お風呂嫌いで1週間以上入らない事がさらにあったが絵羅と出会ったことで2日に1回は入るようになった 本人曰く臭いと嫌われるからだという

絵羅との出会いは海で絵羅が足を吊った時に助けに行ったのが出会い

その1ヶ月後、廃墟にて仕事を終え絵羅を残存した敵だと勘違いして攻撃を仕掛ける

ものの返り討ちにあい絵羅にお仕事（始末）がバレルが絵羅はその事を何も言わずさらにはクロエを怪我はないか心配してくれた

その優しさに触れそして強い絵羅に惚れた

惚れたは惚れたが告白はまだ恥ずかしくて出来ていない

ちなみに絵羅はCQC（近接戦闘術）を学んでいたので対処出来たと後に語る

ファンネーム：飼育員

クロエ「神経衰弱やってたんだねー」

すいせい「そうだよー クロエちゃんもやる？」

クロエ「やるやるー…あ、絵羅さん明日のコラボよろしくねー」

絵羅「うん 楽しい配信にしよう」

ルイ「失礼しまーす」

みこ「なんかやってるにえ」

絵羅「みこちとルイ姉こんちつすー」

みこルイ「こんちつすー」

高嶺ルイ 種族：獣人（鷹）

holoXの女幹部

元ヤンキーで元ブラック企業にいた事がある

ホロライブメンバーの中でもかなり仕事ができる

その反面PONが多い時もあるのでかなり親しみやすい

絵羅とは絵羅がホロライブにオーディションを受けに来た時すれ違ってあいさつした程度である

ファンネーム：ルイ友

さくらみこ 種族：人間

桜神社の巫女

自分はエリートだと言うものの実際にはポンコツがすんごく目立つため35Pからはポンコツエリート巫女なんて呼ばれてる

絵羅は一人暮らしする前は桜神社の隣に実家住みでみことは幼稚園時から交流のあるファースト幼馴染である（セカンドは獅白ぼたん）

ファンネーム：35P（みこぴー）

すいせい「人数増えたしババ抜きでもする？」

クロエ「ですなー」

ババ抜き開始…なのだが

みこ「みこもう上がりそう」

すいせい「チートでも使ったかみこお!？」



みこ「バカが！もし出来たらマジシャンになつとるわ！」

すいせい「それもそつかー ごぺんごぺんwwww」

みこ「なんかそれはそれでむかつくにえ…！」

絵羅「続きやんぞー…あ」

絵羅がみこのカードを引くため自動的にみこが1番目にあがる事になる

ルイ「…さすがにやり直しますか」

クロエ「そうだね…w」

ババ抜きやり直し

1位抜けはルイ

ルイ「お先でーす」

2位抜けみこ

みこ「やり直したとはいえ2位は良い位置だにえ」

3位抜けすいせい

すいせい「くっ ルイちゃんに負けるのはいいがみこちに負けるのは納得いかねえ

…」

みこ「運も実力のうちとはこういうことだにえ」

4位と最下位決定戦 絵羅VSクロエ

クロエ「負けてたまるかー」

絵羅「こつちだつて…」

顔色をうかがいつつカードを選び…そして

クロエ「つしやー」

絵羅「ぐふああああああ！」

最下位は絵羅となった

絵羅「負けた…」

クロエ「やたー」

ルイ「楽しかったですねー」

みこ「久々に面白かったにえ」

すいせい「次は負けないからな！」

クロエ「今日はありが…」

クロエバランス崩す

絵羅「危ねえ…あっ」

助け入ったはいいものの足を滑らせて…

絵羅「むっ!?!」

クロエ「んっ!?!」

ルイ すいせい みこ「あつ」

絵羅がコケたところにクロエが倒れ込み唇と唇が触れてしまう

5秒くらいフリーズ

クロエ「っ！」

離れるクロエ

クロエ「ご、ごごごご……ごめんなさいいいいいいい!!!」

顔真っ赤にして走り去っていくクロエ

絵羅「……………」

すいせい「事故キスしちゃったねえ……」

みこ「まさか現実に起こるなんてえ……」

ルイ「これなんてラブコメ？」

むくりと上体を起こす絵羅

絵羅「…ファーストキス……だった……」

ルイ「あやー……」

絵羅「と、とりあえず帰るね……？」

みこ「う、うん」

絵羅帰宅

絵羅「ただいま……つて誰もいないんだっけ……」

おかゆはゲーマーズと共に1週間旅行中

絵羅「まあでもただいま言うだけマシだからいいか……」

絵羅「明日コラボすんの気まず ってあれ？あ、ファーストキスじゃねえ！ ファーストキスはアロエだわ 忘れてた……w」

クロエ宅

クロエ「あー！事故キスなんてー！明日会うの気まずいいいい！」

後日二人はコラボしたのだがキスの件でグダグダだった為事情を知らないリスナーは何か気まずい事があつたのかと思つた

## 第5話 絵羅の気持ち「恋心」

絵羅「……恋愛について考え出して1ヶ月かあ……うん……やっぱりあいつが真っ先に頭に浮かんでしまう……もしかして恋……？夢にも出てくるし……」

おかゆ「……」

ブツブツ言ってる絵羅から離れておかゆは観察中

絵羅「そっか……そうだ……俺あいつのこと好きだったんだ」

おかゆ「っ」

自身の好きな相手が誰なのか……ようやく気づいたようだ

絵羅「するか……告白」

おかゆ「あ、まっ、待って……！」

絵羅「おかゆ？」

おかゆ「告白……しに行くの？」

絵羅「うん……」

今までにない真剣な眼差しに動きを止める

おかゆ「ずっと……ずっと言いたかったけど恥ずかしくて言えなかった事絵羅に言いた

いー！」

絵羅「うん 聞くよ」

おかゆと対面で話す

おかゆ「僕達1年生の時から知り合いじゃない？」

絵羅「そうだね 1年生の頃は獣人が珍しい方だったから虐められてたよな」

おかゆ「うん……」

人外が学校来んなよとかプールの時は毛が抜けるから入んなとか色々獣人として扱  
いが酷かった

それをみかねてクラス委員長であつた絵羅が声を上げて自分達がもし獣人の立場で  
おかゆが言われた事を自分達に当てはめ考えろとそのおかげでおかゆ並びに1年生全  
体で獣人に対する虐めがたくさん減つた

おかゆにとって絵羅はヒーローに見え4年生になった時自分の恋心に気づいた

おかゆ「僕にとって絵羅はヒーローに見えた感謝しても感謝しきれないぐらい」

絵羅「そう……ふふ 良かった」

おかゆ「それで………ね？僕は……」

絵羅「……」

真つ直ぐお互いを見る二人 そしておかゆが口を開く

おかゆ「小学4年の時からずっと……ずっと好きでした…」

絵羅「……」

おかゆ「………」

絵羅の答え

絵羅「おかゆの好きだつて気持ちには分かった…だけどおかゆのその告白には応じる事が出来ない 俺が好きなのは他にいます」

おかゆ「……そっか」

絵羅「気持ちはすごく嬉しかった」

おかゆ「……」

目に涙を滲ませるおかゆ

おかゆ「振られた……か……でも、グスツ……告白出来て……良かった…」

絵羅「……」

おかゆ「…告白しにいきなよ」

涙を流しつつ言うおかゆ

絵羅「…行ってくる」

絵羅はリビングを出て電話しながら家を出た

自室に戻ったおかゆは振られた事をおばあちゃんに報告する

おかゆ「うん…でも告白出来たのは…良かった しないまま他の子と付き合ってたの知ったらおばあちゃん家に戻ってたかもね…うん 思いつきり泣くから切るね バイバイ」

電話を切る

おかゆ「でも悔しいいいいい!!!」

大粒の涙を流しながら枕を顔に押し当てながら泣くおかゆ

絵羅「…お待たせ…待った?」

ぼたん「今来たところ…んで、どういう呼び出し?」

絵羅が電話で話していたのはぼたんだった

絵羅「…かなり大事なこと」

ぼたん「そうか…聞くよ重要なことだからな」

絵羅「じゃあ単刀直入に…」

ぼたん「ん」

絵羅「獅白ぼたんに惚れました!好きです!!」

顔を赤らめながらハッキリと告白する絵羅



ぼたん「…私でいいの？」

絵羅「うん！優しくて気遣いできるしそして何より今までであったどんな女の子より可愛いと思ったから…このまま幼馴染で終わるのは嫌だったんだ」

ぼたん「…ありがと」

抱きつくぼたん

絵羅「わ」

ぼたん「高校1年の時さ 私、痴漢あつてたじゃん」

絵羅「あつたなそんなこと」

高校に通い初めて3日、電車内で痴漢にあつたことがあるぼたん

ぼたん「どんなに身構えてても実際に被害に会うと声出なかった」

絵羅「近くにおいて良かったよ ぼたんが助けて欲しそうにこつち見たから痴漢かなと

思つて正解だったね」

ぼたん「あれはガチで助かった そつからかな 絵羅を意識し始めたの」

絵羅「最初はそんなでもなかったってわけか まあ、俺もだけど」

ぼたん「2人揃つて遅れて恋心に気づくってなんか 良いな」

絵羅「そう思うよ」

笑い合う二人

ぼたん「絵羅」

絵羅「ん？」

ぼたん「大好き」

絵羅「俺も」

五分ぐらい無言で抱擁しあう

抱擁を辞める

ぼたん「ねえ」

絵羅「おう？」

ぼたん「一夫多妻制が日本に来たらさ：私抜いて10人嫁に迎えても良いよ」

絵羅「ふふ ぼたんも同じ事考えてたんだな」

ぼたん「うん できるだけ幸せになれる人がいるんならそれに越したことはないから

ねー」

絵羅「とりあえずその時になってみるまでどうするか考えないとね」

ぼたん「そうだね♪」

絵羅「それじゃ帰ろっか」

ぼたん「うん」

二人「ららいおーん♪ららいおーん♪二人は恋人♪ららいおーん♪」

ご機嫌な二人

微笑ましそうに見る二人の影

るしあ「ねえクロエちゃん」

クロエ「なんですかるしあさん」

るしあ「告白はほんと早めにした方が良いよ」

クロエ「ですね： 告白するだけしときますね」

るしあ「うんうん♪」

次の日クロエは告白して一夫多妻制が出来たら嫁の一人として迎える事をぼたんと  
絵羅に約束を取り付けた

もちろんおかゆにもその旨は絵羅から伝えた

その話をきいたおかゆは抱きついて喜んだ

## 第6話 ししえらの報告

絵羅「今日の配信ありがとうございましたー」

ぼたん「やっぱり幼馴染とするゲームは何倍も面白くなる！」

絵羅「だね！」

ぼたん「さて：ちよつと枠を変えてお話ししたい事があるので配信閉じます」

江良「22時に報告枠立てますので来れる人は来て欲しいです」

ぼたん「それでは！」

ししえら（ぼたと絵羅のペア名）「おつあえー」

枠閉じたあと Twitterでは「なんだなんだ」と「悪い話？」と「もしかし

てししえら結婚：!?!」etc色んなツイートがあった

おつあえとはお疲れのおつと蒼井絵羅の蒼井のあ、絵羅のえを合わせた終了のあいさ

つである

ぼたん「緊張するー」

絵羅「祝福してくれる人は多そうだけどガチ勢というなの厄介勢が来るかもと思うと

怖いな」

ぼたん 「大丈夫大丈夫」 なでなで

22時 杵を建てる

ぼたん 「ららーいおん ららーいおん 重大報告 ららーいおん♪」

ししえら 「ということでごんあえー!!!」

絵羅 「で、ですね…一部の人にとっては阿鼻叫喚かも知れませんかw」

ぼたん 「マジでそうなんよねw」

絵羅 杵コメント欄 「あつ…」「ははーん?」「え?マジ?」 e t c

ぼたん 杵コメント欄 「それ言ったら一択しかないやんけ!」

「ほああああ! (てえてえてで爆発)」 e t c

絵羅 「勘づいてる人複数いるみたいだね」

ししえら 「それでは報告!」

ぼたん 「私、獅白ぼたん!」

絵羅 「蒼井絵羅は!」

ししえら 「2日前からお付き合っています!」

両方杵コメント欄 「おめでどうおとおお」

「そんな兆候見せなかったのに!」「推しと推しが…ふえへへ」

などなど驚き、祝福などコメントがくる

ぼたん「別に好きな気持ち隠してたわけじゃないんだけど私が好きになったの高校1年生からなんよね」

絵羅「俺は…とあるVから告白されてから恋愛について考えてたら途中でぼたんの事が頭から離れなくなってたんだよね 今更あ、俺ししろんの事好きだったんだなってだからその日の内に告白しておk貰ったって訳よ！」

ぼたん「ホントなら私から告白したかったけど言ってくれてほんとに嬉しくてさ…マジ嬉しくてえ…（泣）」

絵羅「男だしな…自分から言わないでどうするんだって…俺はぼたんの事好きだったな」

コメント欄「ししえらてえてえ」「珍しくぼたんちゃん泣いてる」「泣いてるぼたんちゃん可愛い」「幸せになれよ…（泣）」 e t c

ぼたん「泣いてるの可愛いとか ばかあ…（笑い泣き）」  
絵羅「でも可愛い的事实だし…」

ぼたん「もおくく（顔真っ赤）」

コメント欄「あれ…ブラックが甘いコーヒーに…」

「二人の空気が甘酸っぱい」「この雰囲気良い…」 e t c

絵羅「どうやら俺ら二人の甘酸っぱい雰囲気にブラックなコーヒーが甘くなったよう

ですwwww

ぼたん「あつかつかつかつw」

絵羅「まあそんなこんなで俺達ししえらは恋人同士となったわけですわ！」

ぼたん「でも変わらずみんなには私や絵羅を応援してくれる事を願ってこの配信を終わります！」

ししえら「ご視聴ありがとうございました！おつあえ!!」

重大報告配信終了

絵羅「思ったより祝っててくれてたね」

ぼたん「良かった良かった」

絵羅「んで今日は泊まってくんだよね？」

ぼたん「うん おかゆ先輩気を使わせてころね先輩のところにお泊まり行ったし…蜜

月の時(意味深) 過ごそうよ♪」

絵羅「いっぱい愛しちゃうぞ☆」

ぼたん「わー♥」

夜 蜜月の時(意味深) したとき

## 第7話 はあちやまクッキングー!

某日

はあと「絵羅せんぱーいーい!」

絵羅「元気だな後輩よ」

はあと「はあちやまはいつも元気ハイテンションオオオオン!」

赤井はあと 種族：人間

1期生

破天荒なアイドル

自分のセンチティブアートを見る配信をしたりタランチュラを食べたり洋楽オンリーの歌枠をしたりレパートリーが多い

絵羅とは中学2年生の時にはあとが中学1年生の時に出会っている

ファンネーム：はあとん

はあと「というわけで!来週の土曜日空いてます!」

絵羅「空いてるが配信のお誘いか?」

はあと「ご名答!で?返事はどうします?」



絵羅「いいぞ 来週の土曜予定空けとくわ」

はあと「わーい やっぱ持つべきものは先輩よねー！」

絵羅「はあ、調子がいいんだから全く」

そんな事を言ってる絵羅だが嬉しそうである

絵羅「つてことで来週の土曜夜ご飯いらさないから」

おかゆ「おっけー メモっとくー」

ぼたん「つてか大丈夫なんかな 変なものの食べさせられたりしないよね…？」

絵羅「とりあえずタランチュラとかイナゴとかは食べるよ」

おかゆ ぼたん「えっ」

二人驚愕

絵羅「ん？どした？」

おかゆ「今サラツと言ったけど」

ぼたん「食べるの…？」

絵羅「え？そうだけど？」

おかゆ「実際にイナゴ食べる人いるんだ…」

絵羅「美味しいよ？今度食べる？」

ぼたん「遠慮しておく…」

ちなみに何故ぼたんがいるのかと言うと結婚を前提に付き合っているので絵羅宅に引越した

そしてはあちやまクッキング土曜日

はあ絵羅「はあちやまつちやまく!!」

はあと「ワールドワイドの最強アイドル!はあちやまこと赤井はあととー!!」

絵羅「一人暮らししてた頃はバッタとかイナゴとかタランチュラ食べてた蒼井絵羅でーす!!!」

はあと「おおう、ここにゲテモノ料理好きおる」

絵羅「ゲテモノ料理大好き!なので今回の配信めつき楽しみにしてましたー!!!」

コメント欄「まじかよおw」「ゲテモノ料理ガチ勢www」

はあと「食わなくなっただのはやっぱりおかゆちゃんが居候し始めたから?」

絵羅「そうだね おかゆが旅行とか行ってる時しか食べてないね」

はあと「先輩やつさしー!」

絵羅「まあね!」

コメント欄「えらおかてえてえ」「こういう男子と付き合いたい」

料理開始

絵羅は調味料とかをはあとと玉ねぎなどを切る

はあと「玉ねぎが目に染みるー（>「<」）」

絵羅「玉ねぎは冷やすとその涙が出る成分出来にくくなるのとあとは切れ味の良い包丁を使えば繊維をあまり壊さずに切れるから涙出ないようになるべ」

はあと「今度からそうするね！さすがせんp…このコラボだと絵羅君とリスナーの先輩かぶるから今日から配信中は絵羅君って呼んでいい？」

絵羅「構わんよ」

はあと「りよっかー！」

料理は滞りなく進み

絵羅「かーんせーい！！」

はあと「いえーい！！！！」

タランチュラ入りスープと野菜炒めとご飯

絵羅「絵面やばw」

はあと「閲覧注意って入れてて良かったね」

絵羅「全くだ」

コメント欄「こいつらマジやべえwww」「クレイジーだぜ」

はあえら「いただきまーす♪」

実食！！

絵羅「あーエビですわ タランチュラとか聞いてなかったらエビと錯覚してもおかしくない」

はあと「うんうん」

絵羅「ありがとな はあといいもん食べれたわ」

はあと「どういたしましてー♪」

食べ終わり

はあえら「ご馳走様でしたー♪」

はあと「美味しかったね」

絵羅「うむ またこういう配信やろうな」

はあと「うん！ということではあちやまクッキングどうだったかなー?」

コメント欄「久々にゲテモノ料理見れて嬉しい」「またやって欲しいw」

絵羅「コメント欄評価上々だな」

はあと「たまーにやろうか」

絵羅「うむ!」

はあと「今回のはあちやまクッキング with 絵羅の結果は成功ですー!次回もまた

見てね!」

はあえら「まったねー!」

配信終わり

はあと「今回はほんとにありがとう先輩！」

抱きつくはあと

絵羅「いきなし抱きつくな　でもどういたしまして」

はあと「ねえ　先輩……」

絵羅「ん？なんだ……？」

はあと「折り入ってお願いがあるの」

絵羅「別にいいけど……なんだ？ハーレムに入れて欲しいとか……？」

はあと「えっ、なんで分かったの？」

絵羅「当たってるんかい」

はあと「あつ……しまったあ……」

絵羅「別に大丈夫だよ」

はあと「ぼたんちゃんいるのに!？」

絵羅「まあ、一夫多妻制が日本に導入されたらの話だぞ」

はあと「たぶらかし？」

絵羅「そう言われるとなんも言えねえ」

はあと「まあでも？一夫多妻が導入されたら入れてくれるんだよね　ならいい……のか

な」

絵羅 「ぼたんもそれで良いと言ってるし良いぞ」

はあと 「じゃあ! そうなった時はよろしくねっ!」

絵羅 「いいぞ」

6人目 赤井はあと↓new

## 第8話　さんばか with ししえら

獅白ぼたんと蒼井絵羅は休暇をとり旅行中

今はししえらじゃなくてヘルエスタ王国にいます

絵羅「まさかV最協終わったあとべにちゃんに告白されるとは思ってたよ…」

ぼたん「私も完全にノーマークだったよ」

休暇を取る2日前V最協が行われ蒼井絵羅と八雲べにと歌衣メイカの3人（あべつか）で協力して戦い9位だった

V最協の後一人呼び出された絵羅は八雲べにに告白された

前々から告白しようとは思ってたらしくししえらのお付き合い報告は衝撃だった  
現在7人目の嫁さんとなる

八雲べに　種族：人間

ぶいすぽ所属

セクシー枠……まあ、半分お笑いセクシー枠感はない

絵羅とはえべまつり外伝で出れなくなった白雪レイドの変わりならっただあチームに入ったことがきっかけで交流するようになった

この時絵羅はまだ個人勢である

フアンネーム：しもべに

絵羅「これで美人系の嫁さん一人出来たな」

ぼたん「私は？」

絵羅「可愛いよりの美人」

ぼたん「へへっ♪」

目的地に到着

駅近くの蕎麦屋さんで食事を取る二人

店員「ごゆっくりー」

絵羅は特盛蕎麦 ぼたんは普通の量の蕎麦

ししえら「いただきます」

ぼたん「絵羅ってほんと見かけによらずめっちゃ食べるよね」

絵羅「太りにくい体質って医者から聞いた事あるずるψ(´，`，☆)」

ぼたん「羨ましい」

絵羅「運動もちゃんとしてるしバランスの良い食事心掛けてるからね」

ぼたん「ほーん」

蕎麦食べ終わり外に出ると



アンジュ「あ、おーい」

絵羅「あ、ンジュ」

アンジュ「久しぶりだなあ 前のコラボ以来か？」

絵羅「そうだねえ」

ぼたん「ええと確か……アンジュ・カトリーナさんだったっけ？」

アンジュ「そう 私こそが公式美少女錬金術師アンジュ・カトリーナだ（――ω――）  
？」

アンジュ・カトリーナ 種族：人間

にじさんじ所属公式美少女（自称）錬金術師

絵羅とは同じタイミングでオーディションを受けていた

フアンネーム：賢者キッズ……もとい F C L（意味 フル○○リスナー）

アンジュ「あ、ってかデートだった？」

ぼたん「うん」

アンジュ「すまんー！」

ぼたん「気にしてないから大丈夫っすよ」

絵羅「うん」

アンジュ「ならいいんだけど」

リゼ「あ、アンジュいたいたー」

とこ「お待たせ〜」

アンジュ「いにゆい、リゼー」

リゼ「あ、お久しぶりです 絵羅さん」

とこ「久しぶり絵羅はんー」

絵羅「お久しぶりでござるー」

リゼ・ヘルエスタ 種族：人間

にしさんじ所属 文武両道人望ゲキアツプリンセス

しz：ヘルエスタ王国の第二皇女

アンジュとは幼馴染

絵羅とはさんばかwith蒼井絵羅コラボで出会う

フアンネーム：ヘルエスタ王国民

戌亥とこ 種族：ケルベロス

にしさんじ所属 公式つよつよケルベロス

喫茶店で働くケルベロス

髪飾りになつてるのはパンとケン

リゼと同じく配信コラボで出会う

フアンネーム：決めてない

リゼ「服：かっこいいですね」

とこ「いつもと違う感じでええね」

絵羅「褒められたー♪」

アンジユ「じゃありぜ達来たからこれで」

絵羅「あ、じゃあ最後に」

とこ「ん？」

絵羅「一夫多妻制が日本に出来たらお嫁さんをぼたん入れてー1人迎える予定です  
後4人枠空いてる」

アンジユ「マジかよ」

リゼ「モテてるなあ 絵羅さん」

絵羅「(？・・・ω・・・?)?ドヤア」

アンジユ「:ハーレムだと:!?」

とこ「えらい事しよるなw」

絵羅「2人で決めたからな まあ、それだけ伝えたかった」

さんばか「じゃあバイバイ」

ししえら「へいよー」

さんばか別の場所へ

絵羅「さてデートの続きと参りますか！」

ぼたん「おー！」

リゼ宅

リゼ「…いい事聞いたね アンジユ」

アンジユ「お、おう」

とこ「歯切れ悪いね」

アンジユ「いやー私がハーレムに入ってもな〜って思ってたんだよね」

とこ「絵羅だったら迎え入れるよー」

リゼ「そうだよ アンジユ、歳のわりに可愛いから」

アンジユ「一言余計ですー！…お願いしてみるか…」

リゼ「ちゃんと告白しなよ？」

アンジユ「ん…」

それからアンジユが告白したのは2ヶ月後であった

## 第9話 歌姫

某日の配信

絵羅「配信じゃあー!! って事でこんあえー! 超絶可愛い男の娘! 蒼井絵羅です! 今日  
日は歌枠配信という事でタイトルに書いてある通りゲスト二人迎えてお送りいたしま  
す!」

A Z K i「こんあずきく A Z K i です!」

そら「みんなー! 元気ー? ときのそらです!」

絵羅「ホロライブを見始めたのそらちゃんと A Z K i ちゃんの歌の聖少女領域を  
知ってからなんだよね」

A Z K i「そうなんだ」

そら「嬉しいね」

絵羅「そんなホロライブを知るきっかけとなった2人と一緒に歌えるのは嬉しい限り  
なのです!」

ときのそら 種族：人間

0 期生

まだホロライブプロダクションになる前のhololive時代からいるホロライブ初期メンバー

歌が得意で歌ってみたやオリジナル曲を投稿したりしている

絵羅とは握手会で会った程度

ファンネーム：そらとも

A Z K i 種族：人間

カバ―所属↓u p d 8 ↓イノナカミュージック↓ホロライブ

ホロライブができる前からカバ―に所属しておりu p d 8に加入

イノカナミュージック（ホロライブ）に入ってからu p d 8が活動終了するまで所

属し続けた

そしてイノナカミュージックのプロジェクトが終了した後はホロライブ0期生として

て移籍した

絵羅とはときのそらと同じく握手会で会った程度

絵羅の歌声に惚れぼれしている

ファンネーム：開拓者

A Z K i 「絵羅君と配信するの密かに狙ってたんだよね 歌結構良い声してたし」

絵羅「ほつめられたあー♪えへ」

そら「そんな喜んでる絵羅君可愛いね」

絵羅「o(・ω・+o) ドヤア……！つてな訳で歌って行きましょうか 今回は1時間30分ぐらいの配信となります 最初は……気まぐれメルシイです」

あつという間に1時間経過

そら「1時間つてほんと早いよね まだまだやりたいよ」

AZKi「スケジュールが空いてれば行けるかもだけど絵羅君は？」

絵羅「ししろんとのデートがなければ大丈夫」

そら「相変わらずラブラブだよねえ 羨ましい」

絵羅「幸せ者ですよ 僕 フフツ」

25分経過

絵羅「締めのお時間が近づいてまいりましたのでそろそろ終わりですね」

AZKi「あつという間だったね でも凄く楽しかった」

そら「うん また配信やろうね」

絵羅「そうだね それではみなさーん！」

3人「お疲れ様でしたー！」

コメント欄「良い歌だった」「このメンバーで歌ってみた出して欲しい」

配信終了

A Z K i 「そうだ 今日夜、焼肉きんぐ食べに行かない？」

そら 「唐突だね」

絵羅 「ぼたんもおかゆも友達と外食行ってくって行つてたし行きたい」

そら 「私も外食にしよ」

A Z K i 「決まりだね☆」

絵羅 「んじやあ車持つてくる」

そらあず 「はい」

待つているそらあず

そら 「ねえ あずきち」

A Z K i 「何ー？」

いろはす飲んでるA Z K i

そら 「絵羅君の事恋愛対象として見てるでしょ？」

プロレスの毒霧みたいな事になるA Z K i

A Z K i 「ケホツ き、急に何を言うのかね!？」

そら 「だって絵羅君への態度が他の男性より甘いからさ そうなのかなーって思つて

ただだけ違う？」

A Z K i 「その歌声が好きなのであつて恋愛対象として見てるかはそうではないよ



「？」

そら「ほんとかなー。(。――V――)」

A Z K i「そうだよ！」

そら「そういう事にしておくれ☆」

A Z K i「絶対疑ってるー」

そら「そんな事ないよー」

絵羅「そらあずの二人お待たせー」

絵羅の愛車は三菱 ランサーエボリユーシヨン V I I G T - A (ディープル

パール)そしてマニユアル車

A Z K i「かっこよ……」

そら「こういうの乗ってるんだー」

絵羅「一目惚れってやつっすね 前から乗ってみたくてですね 買っちゃいました

わ」

A Z K i「思いつきりはいいですよー♪」

焼肉きんぐに食べに来た

絵羅「配信お疲れ様でした」

そらあず「お疲れ様でしたー！」

絵羅「好きな物注文していいよ 奢る」

そら「お金の方は大丈夫？」

絵羅「今のところはまだ大丈夫」

そら「じゃあお言葉に甘えて奢って貰おう」

カルビ：肩ロース：リブロース：シャトーブリアン e t c を頼む3人

絵羅「焼き加減はどうする？」

そら「んー特にこだわりがないから絵羅君の焼き方でいいかな」

A Z K i 「私もそれで」

絵羅「了解」

食事を楽しみ：値段もそこそこかかったが奢りそらあずの二人を送って行く事にした

車内

A Z K i 「ご馳走様でした 美味しかったね」

そら「うん たまには焼肉行くのいいかもね 絵羅君の焼き方も良かったし」

絵羅「ししろんとかおかげで慣れてるからねえ それでかも」

A Z K i 「なるほど」

絵羅「ちなみに今回はししろんの焼き方でやってた」

A Z K i 「美味しいわけだね」

ときのそら宅

そら「送ってくれてありがとうー また会おうね」

絵羅「はーい」

A Z K i 宅

A Z K i 「今日はお疲れ様でした ありがとうね」

絵羅「楽しかった」

A Z K i 「そっか♪じゃあまたね」

ほっぺにちゅってするA Z K i

絵羅「お、おう／＼」

A Z K i の思いがけない行動に顔を赤らめる絵羅だった

A Z K i 「大胆にほっぺにちゅしてしまった…恥ずかし」

自分がやった事を恥ずかしがるA Z K i だった

# 第10話 ぶいすぽっ!お泊まり会withおかえら

べに「せーの!」

のあ べに ひなの 絵羅 おかゆ リサ「おはまるー!」

ひなの「橘ひなのです!」

のあ「胡桃のあです!」

リサ「英リサです!」

べに「八雲べにです!」

おかゆ「ぶいすぽっ!お泊まり会なのに何故かいる猫又おかゆです!」

絵羅「ぶいすぽっ!お泊まり会なのに俺の家でお泊まり会を開催されている絵羅です!」

橘ひなの

ぶいすぽっ!のメンバー

左が黒 右がピンクの不思議な髪色をしている

さすがにピンクの方は染めている

絵羅との初コラボはオールガイズでその時の配信にてオールガイズの配信台パ

ンした

ファンネーム：ひななー

英リサ 英語の英と書いてはなぶさ

ぶいすぽっ！のメンバー

食べ物の話になると目を輝かせる

結構な頻度で独特な笑い方をする

それで良く絵羅はゲラることが多くなる

絵羅との初コラボはAPEX

ファンネーム：英東

胡桃のあ

ぶいすぽっ！のメンバー

可愛い声や大人な声など声色が広い

ちよつと抜けてる所がある

絵羅との初コラボはAPEX

ファンネーム：#963fam

コメント欄「異色のコラボやん」「ほんとになんでだよwww」

べに「まあ家がお隣さんだからですね のあちゃんの」

のあ「そうなんですよー お隣さんだったのです」

絵羅「判明したのはそらちゃんとAZKiのコラボの打ち上げ後だった」

回想

そらあずとコラボした打ち上げの後

のあ「あれ…?ここどこ…?」

家に帰ろうとしていたのあなのだが慣れない土地で迷ってしまっていた

のあ「襲われたらどうしょ」

とりあえずコンビニに行く のあ

コンビニから出てきたのは絵羅

絵羅「あれ?のあちゃん?」

のあ「絵羅君だー」

絵羅「こんばんみー」

のあ「こんばんみー」

絵羅「なんか買いに来たの?」

のあ「引越したばかりだから道に迷った」

絵羅「…もしかして屋根が藍色の家ってのあちゃんの家なん?」

のあ「なんで知っとんの?」

絵羅「俺の家 のあちゃん宅のお隣だもん」

のあ「なんとー」

絵羅「送ってくよ」

のあ「ありがとー」

回想終わり

絵羅「つてことがあった」

おかゆ「住まわせてもらった当初なかなか道分からなかったな 懐かしい」

べに「ん？」

絵羅「どしたん？」

べに「住まわせてもらったとは??」

絵羅「あれ?プロフィールに家の同居人の欄におかゆの名前とぼたんの名前書いてあ

るんだけど見てない？」

リサ「えっ」

蒼井絵羅 プロフィール

同居人の欄 猫又おかゆ 獅白ぼたん

ひなの「マジで書いてある!!?」

リサ「ぼたんちゃんは分かるけどおかゆさんはなぜ?」

絵羅の配信を見に来たぶいすぼリスナーはザワつく

絵羅「個人勢：1年目ぐらいにおかゆが引越すから俺の家に住まわせろーってな」

おかゆ「信頼できるしーって思ってたねー」

ひなの「女を誑かすプロですか：?？」

絵羅「否定出来ないな」

おかゆ「うんうん まあ、絵羅って優しいから怒るとめっちゃ怖いけど」

絵羅「前におかゆに限定プリン食べられた時はもう激怒だったわ」

おかゆ「恐ろしすぎて泣きましたw」

ひなの「そうなんだ：」

絵羅リスナー「そんな怖いのか」「見てみたいけど多分泣く」

おかゆ「つてなわけで絵羅を怒らせるのはメツだよ」

べに「おk」

ひなの「絵羅の一人暮らしエピソードとか聞きたいな」

絵羅「んー 1番は：：：昆虫食に目覚めたぐらいかな 一人暮らし始めて2ヶ月ぐら

いでハマり始めた」

のあ ひなの リサ「虫食べるの!？」

べに「そういえば言ってたね」



コメント欄のぶいすぼリスナー「虫を食べるのか(困惑)」「想像しただけでもやばいっ！」

絵羅「タランチュラとかイナゴとか幼虫とか…調べるとAmazonで売ってるよもしゲテモノ料理好きがいるのでしたら買ってみてはいかがでしょうか」

おかゆ「ちなみにゲテモノ料理配信後 タランチュラやイナゴが売り切れなんてことも起こりました」

べに「ヤベー奴ぼっかり」

絵羅「ちなみにタランチュラはエビみたいな味します タランチュラって言わなかったらエビと錯覚すること間違いなし俺がそうでしたwww」

のあ「へー」

べに「じゃあ二人暮りになって失敗した事」

おかゆ「特に…:あ」

絵羅「おかゆが風呂に入ってるの気づかなくてラッキースケベしたわ」

おかゆ「お互いはわあー?!?!? ってなったねwww」

べに「漫画かよw」

絵羅「あの後は土下座した」

おかゆ「許した」

リスナー「許したw」「由々しき事態」「羨ましい」

のあ「定期的もしくは不定期にやってることは？」

おかゆ「僕は不定期に絵羅に甘えたりするよ」

絵羅「俺は1週間に1回は昆虫食を食べる 尚、おかゆとぼたんが居ない時に」

ひなの「例えば？」

おかゆ「絵羅に抱きついたり：気の済むまで頭撫でて貰ったり……」

コラボメンバーやリスナーにとつて最もザワついた質問の答え

おかゆ「一緒にお風呂入るとかね」

絵羅とおかゆ

以外の全員「リスナー含む」「えっ……!?!」

絵羅「確かに入るな……水着着用でな」

おかゆ「あ、ごめん皆 水着着て入ってるって言うの忘れてた」

べに「そ、あ!そういう事ね!」

リサ「だっはあはっはっ!」

ひなの「驚かせんなっ!wwww」

リスナー「それでもお風呂一緒に入ってるのはあかんのでは？」

「プールに入ってるようなもんだからセーフ!」

ころねもコメント「許すまじ…」

絵羅「ころwさwん」

おかゆ「好きな人と一緒にお風呂入るの心地いいよ」

のあ「ん？」

ひなの「好きな人？」

べに「絵羅の事大好きだもんね」

おかゆ「うん」

ひなの「なんで知っ…てるの？」

べに「私も絵羅が好きだから」

リサ ひなの のあ リスナー「エエエエエ!!!! (。ロ。ノ。ノ)」

のあ「衝撃な事実っ！」

べに「いつの間にか好きになってたんだよね」

おかゆ「僕は小一からの付き合いで昔は獣人が珍しくて虐められてて絵羅が助けてくれてね で、お話とかそういうのをしているうちに好きになった 告白したのは絵羅がぼたんちゃんに告白する前にしてた」

べに「私はV最協の後に告白した しないままはヤダだったしね」

のあ「ほえー」

絵羅「そうだねえ」

リスナー「今知ったよ…」「ガチイ!?!ほえー」

そして配信は終了し少し談話、のあ ひなの リサ べには客室にある寝室でおかゆ

は絵羅のベッドで寝た

## 第11話 新人とメイドとおっとり悪魔

ある日の正午頃

絵羅「あつついー」

ぼたん「こんな時に限ってエアコンぶっ壊れるなんて……」

おかゆ「扇風機が唯一の救いー」

絵羅の部屋のエアコンがぶっ壊れた状態でゲームする3人

ぼたん「でもゲーム辞められないんだけどw」

絵羅「ほい 麦茶」

おかゆ「あざーす」

絵羅のスマホが鳴る

絵羅「あ、つなちゃんだ」

猫汰つな 種族：人間

ぶいすぽっ！の新メンバー

○○ペックスがお得意

デビューしてから初の○○ペックス配信にてラストに絵羅と偶然マッチングしたの

が交流のきつかけとなる

ファンネーム：つな友

回想

つな「これがラストマッチだー 頑張るぞ」

マルチメンバーが決定しその中に蒼井絵羅の名前が出た

つな気づかず

つな「よろしくお願いします！」

絵羅「よろしくクリキントン」

つな「クリキントンww」

コメント欄「え?!?」「絵羅さんやんけ!」

絵羅「あ、やっぱりコメント欄ザワついでる」

つな「私のリスナーさん…?」

絵羅「いやぶいすぽ新人さんエペやってるなーって見に来てただけですね べにちや

んには世話になつとるんで」

つな「…あ!もしかして蒼井絵羅さん!」

絵羅「正解」

つな「嘘!気づいてなかった!」

絵羅 「はは」

回想終了

ぼたん 「……誰よ！その女!!？」

絵羅 「猫汰つなさんだよ 最近知り合ったばかりってことで電話出るね」

電話出る

絵羅 「はいい しもしも？」

つな 「なんでしもしもなんですかモシモシじゃないんですか」

絵羅 「なんとなく それはそれとしてどしたん」

つな 「えーとですね 直球に言いますと」

絵羅 「なんでしょ」

つな 「どつか遊びに行きませんか？暇なんですよ」

絵羅 「ゲーム以外やることないから良いよ」

つな 「では、イオン集合で良いですか？」

絵羅 「それで行こう」

つな 「了解です。では！」

電話終わり

絵羅 「ってことでつなっちと遊んでくるわ」

ぼたん「浮気すんなよー」

絵羅「しないからな!？」

ぼたん「うそうそ 信頼してるから行ってらっしゃい」

絵羅「ふっ 行ってきます」

イ○ン前

絵羅「おつまたせー」

つな「やほー…えっ!？」

私服姿を見たつなビックリ

絵羅「何を隠そう女裝子なんです 俺」

今の服装はゴスロリ

つな「そ、そうだったんだね」

絵羅「んで?どこ行く?」

つな「ゲーセン行こ」

絵羅「りよっか」

ゲーセンに行った2人

ロリータファッションに驚く人もいれば絵羅リスナーはいつもの事なので挨拶したりする



つな「慣れてる人は慣れてるんだね」

絵羅「そうだね 女装もそうだけどロリータファッション着てるのは俺のリスナーな  
らいつもの女装だつて思うだろうな」

つな「なるほど」

レトロアーケードが並ぶ中でガンダムガンシユューティングを見つける絵羅

絵羅「これやろうぜ」

つな「ガンダム…のガンシユューティングだー 名前しか知らないんだよねガンダム」

絵羅「興味持ったらオススメガンダムアニメ教えるよ」

つな「うん その時はよろしくね」

ガンシユューティングを始める2人

つな「案外むずいっ」

絵羅「自分で構えるからねえ ちよいムズいんだよな」

慣れた様子で動く絵羅

つな「その服着て動けるんだね」

絵羅「慣れたもんよっつと！」

周りの人達「ゴスロリの男の娘強…」「女の子も強…」

そしてゲームクリア

絵羅「楽勝」

つな「ほとんど足引つ張ってたなあ……さすが絵羅さん」

絵羅「3日に1回はやってたからだいたい分かってる」

つな「かつこよ……」

ゲームセンターを出てカフェ

店員「あの もう満席なので相席になっても構いませんでしょうか」

絵羅「全然大丈夫です」

つな「私も」

店員「ありがとうございます」

案内された席には

パトラ「およー？絵羅君だー」

たまき「なぜご主人様ここに!？」

絵羅「パト姉にたまきじゃーん いや、カフェに行こうって話してて来ただけやで」

周防パトラ 種族：魔界人

可愛い可愛い魔界人

ASMRに力をとでも入れておりそれにスタジオを建てるほど

黒Dio白Dioも沢山 環境音入れるため実際に外で撮るなど本気

絵羅の初外部コラボ相手

ファンネーム：わんちゃん

犬山たまき 種族：獣人（犬）

のリプロ所属

可愛らしい見た目をした男の娘

交流はたまきからのコラボ対談を持ちかけられた頃から

ファンネーム：たまきんズ

パトラ「あれ？その子は？」

つな「ぶいすぽ新人の猫汰つなです」

パトラ「周防パトラです よろしくね」

たまき「犬山たまきだよ！」

絵羅は特大パフェを つなは普通のパフェ

パトラはいちごスパゲッティ たまきはホットケーキ

たまき「いちご……スパゲッティ？」

パトラ「どんなものかちよつと挑戦したくなつた」

つな「そんなのあるんですね……」

絵羅「好き嫌い別れるな」

いちごスパゲッティが来た

パトラ「いちごのモンブランと思えば行ける気がする」

食べてみだ

パトラ「??」  
「? 」

たまき「ど、どう?」

パトラ「結構美味しい」

つな「今度私も食べてみ……ふあつ」

絵羅が頼んだパフェの量がエグかった

絵羅「やっぱりこれだね」

つな「た、食べれるの?」

絵羅「それはもうぺろりと」

たまき「ご主人様すつご…」

皆食べ終わり

全員「ご馳走様でした」

会計はパトラが全部出した

たまき つな 絵羅「ゴチになります」

パトラ「いいって事よー あ、そうだ 3人には来て欲しいところがあるんだけど…」

いい?」

たまき「まだ時間余ってるしいいよ」

つな 絵羅「たまき(さん)と同じく」

パトラ「じゃあ行こ」

着いたのは展望台

たまき「おー いい景色」

絵羅「あー ここかー 良く来るよここ」

パトラ「そうなんだ」

絵羅「それにここ弟の千賀とみこが告白した場所だ」

たまき「確かにこのロケーション告白にはピッタリだ」

絵羅「……1つ告白するね」

たまき「ナーニ?」

絵羅「実はハーレム作ってる」

3人「えっ!?!」

当然びつくりする2人

絵羅「もちろんししろんと一緒に考えた結果だよ」

たまき「ご主人様は何人嫁にむかえるの??」

絵羅「1人」

つな「そのうち何人は決定してるの？」

絵羅「ししろんも含めて8人目だね」

たまき「ほーん」

絵羅「金銭に余裕出来たら増やすかもだけど……今は断言出来ない」

たまき「……でも僕は対象外だね 僕、ご主人様の事好きなのにさ」

絵羅「確かに嫁という部類に入れないからなあ……」

つな「待つてたまきさんって絵羅さんの事好きなの？」

たまき「そう！一目惚れってやつ！」

つな「なるほど」

少し談話した後

パトラ「それじゃそろそろ帰ろっか」

つな「はーい」

つな以外帰宅

つな「……」

絵羅「……言いたい事があれば言えよ」

つな「実はね……一目惚れしてたんだよ絵羅さんに最初は容姿がドストライクだね

んで実際に話して：今日は色々とかツコイイ所も見せてくれたし：さらに好きだつて  
想いがおつきくなつてた だから：私もハーレムに迎えてくれる？」

絵羅「もちろん 歓迎するぜ あ、ハーレム作ることは内密にな たまきとパトラに  
は言つちやつたけどな」

つな「でもあの2人は口外しなさそう」

絵羅「信頼してなかつたら言わねえよ」

つな「それもそうだね」

2人で笑いあう

つな「それじゃまた誘うね！」

絵羅「おけ」

2人「ばいはーい」

お互い帰路についた

## 第12話 大乱闘スマッシュh o l o X

猫汰つながハーレムに加わった4日後

絵羅「こんえら 今日ではすね h o l o Xのメンバーと共にゲームをやるというのでしたがクロエとルイ姉が共に風邪を引いてしまったので風間いろはとラプラス・ダークネスと博衣こよりと共に大乱闘スマッシュブラザーズスペシャルやっていきたいと思いまーす！」

4人「いえー！！」

ラプラス・ダークネス 種族：見た目は悪魔っぽいなー

本名 ラプラス・ディア・ハイエスト・デスサートイン・ダイナ・アートオブインパクト・サイン・皇(すめらぎ)・ロード・オブ・The・ダークネス

見た目は悪魔！中身は可愛いやさしい！な悪魔っぽい人

ちよつと配信では生意気感を出していても配信外では真面目

絵羅とは近所のコンビニで会う

ファンネーム：ぶらすめいと

博衣こより 種族：獣人(コヨーテ)



h o l o Xの頭脳と本人は言っている

たまにセンチティブな発言しちゃう事が多々ある

絵羅とは今回が初絡み

ファンネーム：こよりの助手くん☒略して助手くん☒

風間いろは 種族：人間（この設定は狸人と人間ハーフ）

h o l o Xの用心棒 愛刀はチャキ丸

ホロライブでは珍しい清楚キャラ

語尾にござるをつけるのが特徴でホロライブ中最もフィジカルが強クリングフィット  
トアドベンチャーではほほ息切れ無しととっても運動がつよくよ侍である

絵羅とは今回は初絡み

ファンネーム：かざま隊

絵羅「とりあえず風邪引いた理由は雨の日相傘していたら傘が壊れ自動車に水ぶっ  
かけられ家まで遠くシャワー浴びれず風邪を引いてしまったみたいです」

ラプラス「仕方のない事象ではあったな」

いろは「2人の分まで楽しむでござる」

キャラ選択

いろは「風間は侍なので剣士キャラのルキナ使うでござる」

ラプラス「吾輩はリドリー」

こより「こよは…ロックマン」

絵羅「ホムラ／ヒカリにする」

こより「グラマラスですね そのキャラ」

ラプラス「スマブラに出てるキャラの中で一番だな…」

いろは「胸の話はストップでござる」

試合開始

ルール 大乱闘 5ストック 制限時間無し ステージ選択ランダム アイテム無

し チャージ切り札あり

ラプラス「このやろっ！」

いろは「甘いつ！」

ラプラスの攻撃はカウンターされる

吹っ飛ばされた先には絵羅ホムラが

絵羅「吹っ飛べ☆」

横スマ直撃

ラプラス「ぐあああ!!!」

ラプラス脱落

こより「そんな絵羅に切り札ああ！」

絵羅「あつぶね！」

上に避ける

いろは「わっ」

ロツクマンの最後の切り札ミス

こより「又アングエ！」

いろは「そしてさよならでござる！」

コンボ決めて場外へ

こより「まだだああ！……へあっ!?」

戻って来ようとするこよりを絵羅がメテオを決めこより脱落

こより「ぬうううあああ!?!」

絵羅「お互いストック2だな…」

いろは「うん」

ラプラス「どうするんだよ？」

1回自滅する2人

ラプラス「www」

こより「わざと自殺して不公平がないように調節したw」

いろは「分かってるじゃないですか 後輩君」

絵羅「スマブラ歴は先輩だぞお」

少しして戦闘再開

いろは「そこ！」

絵羅「甘いつ」

ヒカリチエンジンから横スマ

いろは「まだでござる」

ダッシュジャンプして空前をする

絵羅はジャンプして横Bをして迎撃リーチの差で絵羅攻撃受けない

いろは「間合いが分かってるでござるな！」

絵羅「ホムヒカ使い慣れてるからなっ！」

ホムラチエンジンして攻撃 いろはカウンターする

剣先で当てたのでカウンター不発

すかさず絵羅は横B 上手く当たる

追撃しようとしていろはが空下を振っていた

当たらないように急降下してまたジャンプして空上をして横Bで上手く当たりお星

様になったいろは

## 絵羅の勝利

いろは「くあー！あそこで反応出来てれば勝てたでござる」

絵羅「当たって良かったぜ」

こより「最初はいろはちゃん優勢だったけど後半は絵羅君押してたね」

絵羅「横B当たって良かったぜ」

いろは「あんな闘い方もあるでござったか：勉強になるでござる」

絵羅「ふふん よし次行こう」

20回戦いをした結果圧倒的な力を見せつけた絵羅の勝利に終わった

絵羅 10勝 こより2勝 いろは4勝 ラプラス2勝

ラプラス「悔しいー!!」

いろは「強すぎでござるうー!」

こより「4勝出来たあーεー(´▽`;) ホッ」

絵羅「色んなキャラを研究してたし大乱闘での立ち回りはスマブラDXの時から4人とかでやってたから分かってるんよな %が一番高いやつから潰すのは基本だしな」

ラプラス「だから吾輩が最初に脱落するのが増えるのか…」

## 雑談

ラプラス「そういえば」

絵羅「うん なに」

ラプラス「なんで絵羅の家に新人いるの？」

こより「え？いつ見た!？」

ラプラス「一昨日絵羅の家に入っていくの見たんだよ 不倫か？」

絵羅「ああ、俺の家を引越し先にどうかなって見て貰ってた 丁度おかゆいたし俺配  
信してたしな」

ラプラス「そっかよかった」

絵羅「驚かせてすまん」

いろは「沙花又幽霊の事で悩んでたでござるからな」

絵羅「丁度桜神社の御札とか貰ってて効果バツグンだから進めた 部屋もまだ残って  
るし丁度いいかなって」

ラプラス「考えてるんだな」

絵羅「おう」

実際はもう引越しを終わらせ住んではいる

## 第13話 帰省と制度

holoXコラボから1週間後

2人で3日の休みを取り獅白ぼたんと共に絵羅の実家へと帰る

ぼたん「絵羅の実家に行くのも久しぶりだね 覚えててくれるかな…？」

絵羅「大丈夫人一倍記憶力いいからんじや入るか」

家に入る

絵羅「たっだいまー!!」

ぼたん「お邪魔します」

綾人「おかえり…それといらっしやい」

蒼井綾人

絵羅の父親 記憶力がよく細かい事まで覚えている

3歳の頃 嫁が他界してから男手ひとつで育ててきた

最初は絵羅の女装趣味については難色を示してはいたのだが絵羅の楽しそうな姿を見て「まあ、楽しんでるみたいだしまあいいか!」となったそうだ

綾人「どうだい 今の生活は」

絵羅「特に不自由無く過ごせてるよ また同居人増えたけど」

綾人「またああ！w w w」

絵羅「引越し先で幽霊とか謎の声に謎の現象が起きててね それを解消させたくてね」

綾人「うむ 幽霊は怖いやつもいるからな」

ぼたん「その口ぶりだと酷い目にあつたんですね」

綾人「深夜のドライブ中に突然人影が出たもんだから避けたら電柱にドガンとぶち当たってな 幸い怪我はしなかった で、警察に聞いたら幽霊が悪さしてるって言うんだよ 何回もその場所で事故ってそして皆、口を揃えて人影が出たってな」

絵羅「その後みこちがお祓いしてから事故が激減した」

ぼたん「怖っ でもそれで激減出来たのなら良かった」

綾人「ああ」

絵羅「じゃあ父さん2泊3日よろしく頼む」

綾人「おう」

ぼたん「お世話になります」

お昼

綾人「なにか食べたい物あるかー？」



絵羅「生姜焼きー」

ぼたん「私もー」

綾人「おkー」

ピンポーン

絵羅「誰が来たな 出てくるー」

綾人「おkー」

玄関のモニターを見る

??「こんるるー」

絵羅「鈴原るる!？」

るる「この子知り合い?ウロウロしてたけど」

A Z K i「こ、こんあずき…たはは」

絵羅「A Z K iまで…まあ、入ってよ」

玄関開けた

るる「お邪魔しマンモスー♪」

A Z K i「お、お邪魔しまーす…」

綾人「おやおや珍しいな鈴原るるよ こんなどころに来るなんて後…A Z K iちゃん

か」

るる「お久しぶりです 綾人さん」

A Z K i 「はじめまして A Z K i です」

鈴原るる 種族：人間

物静かで言葉遣いが優しい女の子

にじさんじの悪魔 でびでび・でびるを崇拜している

負けず嫌いで強敵には何度も何度も挑んだりしている

にじさんじを引退し今は綾人のガンプラ店で働いている

ファンネーム：なし

絵羅「それでなんの御用でござるか」

るる「んとね」

ぼたん「マジで!!!?」

と、ニュースを聞いていたぼたんが叫んだ

絵羅「どしたどした?」

ぼたん「いつ」

A Z K i 「い?」

ぼたん「一夫多妻制制度と同性婚……明後日から適用だつて」

A Z K i 綾人 絵羅 るる「なっ!なんだつてえー!」

絵羅「…うお、めっちゃLINE来た　これでおかゆ達嫁にできるな」

綾人「はい？」

るる「それはどういう」

AZKi「ことなんです？」

絵羅「え？ああ、実は8人ほどに告白されててね　一夫多妻制が日本で合法になった  
らその子達嫁を迎えるって約束したんだよ」

ぼたん「もちろん私は了承してる☆」

綾人「それならいいんだが…上手くやりくりしろよ」

絵羅「おう」

るる　AZKi「…」

絵羅「もちろん2人も俺のお嫁さんになります？」

AZKi　るる「えっ!？」

ぼたん「気づかないとでも思ってたか??」

るる「いつ気づいたの？」

絵羅「アホでび様がバラした」

るる「あのコアラめー」

絵羅「んでなんで俺のことを？」

るる「一目惚れだよ」

ぼたん「AZKi先輩は？」

AZKi「歌声と優しさに惚れました」

ぼたん「ほえー そうなんですネ」

AZKi「うん♪」

綾人「大所帯だなあw まあ何か出来る事があつたら遠慮なく言ってくれ支援する」

絵羅「助かる」

ぼたん「とりあえずこれからよろしくな 2人とも」

AZKi「るる「うん！」」

この後、たまきから求婚があつたのは言うまでもない

# 第14話 迷った時は来た道を戻れ！

絵羅「ヒマだねえ……」

一夫多妻制度が施行するニユースが流れて1週間

おかゆやぼたん、クロエが旅行に行ってしまったので何もやる事がない絵羅

絵羅「ゲームより外に出るか！」

ゲームをやるのはいつも通りなので外に出かけることにした

絵羅「なんとなしに事務所まで来てしまった」

気づけば事務所まで来てた絵羅

ルーナ「あれ？絵羅君なのら」

スバル「あ、ほんとだ」

絵羅「よつす 2人ともー」

姫森ルーナ 種族：人間

エレクトーンやゲームが上手な姫騎士である

モンハンでは介護されるより一緒に戦って欲しい派である

絵羅とは地球防衛軍5コラボで初絡み

ファンネーム：ルーナイト

大空スバル 種族：人間

ツツコミ芸人……え？違う？

ボーイツシユで活発な女子

昔、余命宣告を受けていたのだがそれを乗り越え現在も元気に過ごしている

絵羅とはルーナと同じく地球防衛軍5コラボで初絡み

その時のメンバーは大空スバル 獅白ぼたん 姫森ルーナ 蒼井絵羅

招集をかけたのは獅白ぼたん

ファンネーム：スバ友

ルーナ「そういえばルーナ達が会うの久しぶりなのらよね」

絵羅「そうだねえ 地球防衛軍コラボ楽しかったな」

ルーナ「絵羅君が間違つてプラズマキャノン撃つて吹っ飛んでたのめっちゃ笑つたのら」

絵羅「それで死んだからスバルより酷い」

スバル「確かにーw」

その事件の様子

絵羅「体力10しか残ってねえー」



信でもあったしな」

スバル「分かる」

ちよこ「あ、絵羅様達ー」

絵羅「あ、ちよこ先」

癒月ちよこ 種族：悪魔 2期生 悪魔界の保健医 甘いボイスで大人なお姉さんであるが少し天然であつてうっかりすることももある 大人な、でも可愛い悪魔 料理は人並みに上手くたまに料理コラボ配信することもある

絵羅が小学4年だった時に1年だけ学校の保健医の仕事していたのでそこから知り合いになった

ファンネーム：ちよこめいと

スバル「ところでおめえなんでここに？」

ルーナ「そういえばそうなのら」

絵羅「暇 ゲームするのもなんだし外に出よう 自然とここに」

ルーナ「わかりやすいのらね」

絵羅「2人はどうした？」

スバル「えー……つと……」



ルーナ「デートしてるのら♥」

スバル「ちよお!？」

ちよこ「まさかお付き合ひしています…?」

スバル「…うん」

絵羅「マジかよ おめでどう」

ルーナ「ありがとうなのら♪」

スバル「えへ」

絵羅「んじやあ 邪魔しちや悪いしどっか行こうかな」

スバル「気遣い感謝っ」

ルーナ「ばいばーい」

スバルルーナと別れた

絵羅「んでちよこはどうする？」

ちよこ「ちよこは絵羅様に着いてく着いてくー」

絵羅「おつけ じゃあ…どこ行こ！」

ちよこ「きめてないんかいっ！」

絵羅「なんのあてもなくフラフラするつてのが好きだから今日はその気分で歩いてた

わ」

ちよこ「なるほど」

2人は目的もなくフラフラと歩いていたのだが…

ちよこ「ねえ 絵羅様？」

絵羅「…何かな？」

ちよこ「迷ってますわね??」

絵羅「…君のような勘のいい女性嫌いじゃない」

ちよこ「まっつてこれ帰れないのでは??」

絵羅「来た道戻ればなんとかなる！」

ちよこ「そ、そうですか」

迷った為来た道に戻ってみた

すると?

江良「迷ったアアアア!!?」

楓「ほら言わんこっちゃんない… だから地図見よって言ったやん」

ちま「ワロタ」

絵羅「まーた迷ってんのか御伽原……」

楓「あっ! 絵…蒼井よっすー」

ちま「ごんにちはー」

江良「迷ってねえからな！」

絵羅「迷ったって叫んでたの聞こえてたぞ」

御伽原江良 種族：人間

シンデレラが憧れの女性

最初のうちは清楚だったのが配信を重ねるにあたりどんどん清楚が剥がれていくというVTubeerあるあるを体現していた

現在にはじさんじを卒業している

絵羅とは名前が同じなので苗字で呼んでいる

それに合わせて蒼井絵羅と御伽原江良が一緒にいる時は苗字で呼ぶようになってい

ファンネーム：王子様候補☒略すと王候☒

樋口楓 種族：人間

関西弁を話す女性

歌が上手くツツコミも上手い

ランティスレーベルにてメジャーデビューするほどの実力を持つ

絵羅がホロライブデビューしてから3ヶ月後の凸待ち配信に行った時から交流が始

まった

ファンネーム：楓組

町田ちま 種族：人間

歌唱力がバケモンな女性

歌唱力もさることながら狂人的な行動をすることがある

絵羅とはそんなに会ってなく2人はお互い歌上手いなあと思っている

ファンネーム：ゴンザレズまたはちまちゃんず

絵羅「んで、3人はなんで迷ってんだ」

楓「御伽原がなあ？目的もなくフラフラ歩こうよとか言ってるな 適当にブラブラして

たら迷ったんや」

ちま「もう疲れた……」

絵羅「御伽原バカなの？」

江良「黙らっしゃい そっちは？」

絵羅「適当にフラフラしてたら迷ったので来た道帰ろうかと思ってるたところだ」

ちま「そうなんだねえ」

江良「ざま……」

絵羅「さては来た道戻らないタイプだな」

江良「ぎくっ」

楓「絵羅に着いてった方がよさそうやなww」

絵羅「着いてこーい」

3人「はーい」

江良「あつ、待つてえ〜」

ちよこと楓達は初対面だったので自己紹介しつつ現在地が分かる場所まで歩き知ってる場所に戻れた5人

ちよこ「ちよつと焦ったあー」

絵羅「目的もなくフラフラ歩いて迷った時は来た道に戻るのが鉄則だぞ 覚えておいてね」

楓「はーい」

ちま「了解〜」

江良「覚えとく」

その後カフェに行って談話した後各々家に帰って行った

## 第15話 黒上フブキと愉快的仲間

あの迷子日から2週間と2日

絵羅 江良「……」

江良「まさかの仕事入るとは」

絵羅「なので今日は俺達だけで遊ぶ事になったぜ」

本来であれば花畑チャイカトリゼ・ヘルエスタと4人で遊ぶ約束をしていたのだが  
チャイカトリゼにお仕事が入ってしまった2人で遊ぶはめになる絵羅と江良

江良「んでどうする？」

絵羅「とりあえずどこかでご飯食べよう お腹すいたし」

江良「おk 洋食系の食べたーい」

絵羅「りよーかい お？」

とこ「あ、お2人さん やほ」

江良「とこちゃんやーほー！ー！」

アロエ「こんちうちー！」

絵羅「アロエやんけ」

アロエ「吾輩だよ」

右方向からアロエ 左方向からとこが現れた

アロエ「んで何してるの？」

絵羅「今から飯食べに行こうと思ってるな」

江良「洋食系が食べたいってね」

とこ「うちもついて行っていい？ お腹すいたし」

アロエ「吾輩も行くー」

絵羅「んじゃ一緒に行くこう そういやアロエと御伽原ととこって初めてあったよな

？」

江良「うん 私は御伽原江良 蒼井と一緒にいる時は御伽原って呼んで欲しい」

とこ「うちは戌亥とこ 地獄の門番ケロベロスや」

アロエ「吾輩は魔乃アロエ 魔界人だ 絵羅とは夫婦になる」

江良「はあ!?!まじで!?!」

絵羅「そうだが？」

江良「えっ 嫁いるんじ………あー!!一夫多妻制かああ!」

アロエ「ピンゴ♪なので浮気については安心してる」

とこ「嫁さんにすればええもんね」

絵羅「そうそう」

江良「食費とか大変そうだな」

絵羅「まあ、一緒に住んでるの3人だからまだマシ」

そんなこんな話してらうちにレストランへ

絵羅「ワイ奢る」

3人「あざーす」

クロ「あ」

絵羅「あ、黒上」

アロエ「白上先輩の黒バージョン…？」

クロ「黒上フブキだ 白上のフブキとは従姉妹だ」

黒上フブキ 種族：獣人

白上フブキとは従姉妹

何故かほぼそっくりな黒上フブキ

白上フブキよりぶっきらぼう でも内面は優しかったりする

皆からはクロと呼ばれている

絵羅とは高校3年生の時に同じクラスになりガンダムの話で意気投合した

クロ「まあ、私のことはクロと呼んでくれ 白上フブキと名前一緒だしな」



アロエ「はーい」

それぞれ自己紹介した後

クロ「じゃあ私はラーメン食ってくる　その後遊ぼうぜ」

江良「いいよー」

ご飯食べ終わったあとクロとゲーセンへ行く

クロ「絵羅ってガンシユータイピングは得意か？」

絵羅「週に1回はガンシユータイピングしに来るな」

クロ「そのスカートで？」

絵羅「そうだよ？」

今回のコーディネートは量産型コーデ

膝が出るくらいのスカートの長さ　可愛い靴でありながら機能性も抜群　トップス

はクロで肩が出る袖付き服

アロエ「今思ったが可愛いな吾輩、真似していいか??」

絵羅「いいぜ」

江良「地雷コーデとかは？」

アロエ「やったことあるが結構…好き」

絵羅「そーいや御伽原は地雷コーデは好きだったな」

江良「うん まあ自分では着なくなっただけどね」とこ「へー」

ゲーセンについた一行はそれぞれ行ききたいところに行つた

江良とアロエとところはメダルゲームにクロと絵羅はガンシューティングに行つた

絵羅「クロってガンシューティングは？」

クロ「今回が初だな まあ、楽勝だろ」

絵羅「それじゃやってみよー」

ゲームも中盤

クロ「死ぬ死ぬ死ぬ!!」

絵羅「隠れてて俺やる」

クロが隠れて絵羅が攻撃する

絵羅「こことこことここに！」

的確に撃ちつつ隠れて攻撃を避ける

クロ「かっけえ！」

絵羅「それはこのゲームクリアしたら…ね!!」

そしてラスボスを倒した

クロ「かっけえ！お前のおかげで助かったー!!」

抱きつくクロ

絵羅「うお まあ、クロも初心者としては上手い方だったぞ」

クロをなでなでする

クロ「えへえへへ」

尻尾フリフリしてる

クロ「あつ」

自分のした事に気づき離れる

クロ「まつ！まあ？まだ弱いつて事が分かったししし？ガンシユータイング楽ししか  
らまたやろうぜっ！」

赤面しつつそう言った

絵羅「おう」

絵羅は内心可愛いねえと思っていた

そしてその後5人でプリクラを撮った

クロ「昔プリクラ入ったが進化してたな」

絵羅「いやープリクラなんて高校3年生以来だったからテンション上がったぜ」

とこ「こういうのもたまにええなあ♪」

アロエ「じゃあ吾輩帰るね ばいばい」

江良「私も帰るー とこちゃんは？」

とこ「ウチも帰る 久しぶりに一緒に帰るか」

江良「やたー！ー！」

絵羅「それでは解散！」

絵羅とクロ以外帰って行った

クロ「私まだ時間あるし絵羅についてく」

絵羅「おっけー」

絵羅が向かったのは父親が経営するガンプラ店に行った

クロ「あ！そういうえばRGゴッドガンダム発売日だったな！」

絵羅「そうそう RGゴッドガンダムあったら買ってやろうかって思ってたな」

クロ「あるといいな」

綾人「いら お、絵羅とクロじゃん」

クロ「お久しぶり綾人さん」

絵羅「ところでRGゴッドガンダムある??」

綾人「実は2体隠してた クロと絵羅にあげるためにな！」

クロ「店長にしか出来ない芸当で草あw」

綾人「というわけでタダで貰うかお金払って買うかえr…」

絵羅「買う方向で」

そして絵羅はクロの分まで支払う

クロ「ゴチになるぜ」

絵羅「おう」

綾人「まいど」

クロ「話こんでたら暗……」

PM9時である

絵羅「送ってくよ」

クロ「何から何まですまん」

絵羅「いいぞ」

白上フブキ宅

絵羅「今フブキ先輩のところに住んでるのか」

クロ「おう」

フブキ「あ、2人ともやほー」

絵羅「フブちゃんやほ」

クロ「今帰ってきたところか？」

フブキ「うん 少し仕事でトラブルあったから帰るのがこの時間に」

クロ「大変だったな」

絵羅「そだ 明日のコラボお願いしますね」

フブキ「うん 2人で盛り上がってこうね じゃあ先に家入ってるね」

家に入るフブキ

絵羅「んでどうだったよ あの3人と遊んだ感想は」

クロ「そこは思った通りのマイペースケルベロスで江良は騒がしいけど楽しくなるやつでアロエは左右の角が長さ違って悪魔でもやっぱり個性が出るなど」

絵羅「飽きないんだよなあ 友達が沢山いるとき」

クロ「そうだな んしじゃあ送ってくれてありがとな」

絵羅「おうよ」

クロ「じゃ」

絵羅「また遊ぼうな」

クロ「うん!……あっ、抱きついたこと忘れろよな!じゃ!」

最後赤面してそう言って家に入ってしまった

絵羅「ふっ 忘れられるかよ」

クロ「ふう」

リビングに入る

フブキ「楽しかった？」

クロ「おう…むう」

フブキ「どうしたの？」

クロ「いやさ あいつ友達沢山出来てるから羨ましいなど 私もそれなりに友達いるけどさ」

フブキ「あーそれは分かる コミュカプレデターだと思ってるよ 白上は」

クロ「あー そう言われると納得するな」

フブキ「それで？」

クロ「んだよ？」

フブキ「初恋に久しぶりにあった感想はどうですか？」

クロ「その…前よりカツコ可愛いとは思った…ガンシューティングの時だって改めてあ、こいつの事私好きなんだなって…ってそういう事言わせるな恥ずかしい」

フブキ「そういうことにしてあげる ふふふ」

クロ「ったく…」

## 第16話 ホロライブEnglish Myth登場

絵羅「空き地について家が建った」

おかゆ「隣のだっけ」

絵羅「おう どんな人が住むんだろうな」

絵羅の家の隣にある空き地に家が建ちどんな住人が住み始めるのか楽しみになって  
いる2人

絵羅「とりあえず食材買いに行こう」

おかゆ「おっけー」

イオンに到着し買い物をしていると

キアラ「あつ 絵羅さーん」

絵羅「キアラ!?何故ここに!」

キアラ「それは後で教えます♪」

小鳥遊キアラ 種族：不死鳥

ホロライブEnglish

海外勢で日本語はまあまあ話せる程度



明るくて元気な女性

絵羅には月1で会いに来る事がある

ファンネーム：KFP

ぐら「あつ！絵羅ー♪」

絵羅「ぐらもいるし：待って」

おかゆ「Mythの人達全員おるやんけ」

カリオペ「やほ」

アメリカ「こんにはー！」

アメリカ 絵羅に抱きつく

絵羅「恥ずかしいからやめい」

アメリカ「えへっ☆」

イナニス「もうw」

がうるぐら 種族：獣人（鮫）

アトランティスから来たらしい鮫族

子供のように明るくてムードメーカー

高校2年の時に1年留学をする事になりホームステイ先として絵羅の実家で一緒に

過ごして仲良くなる

ファンネーム：chumbuds

森カリオペ 種族：死神

魂を刈り取る死神

ラップが得意でVTuberの中ではトップクラスのラッパーと個人的にはそう思っている

絵羅とは実際に会うのは初めて

discordとかではチャットはしあっている

ファンネーム：Dead Beats (デッドビーツ)

ワトソン・アメリカ 種族：人間

探偵の格好をした女性で獣人やら悪魔やら所属しているホロライブが気になりそれにハマリホロライブEnglishとしてホロライブに入った

絵羅にこんなに懐いているのは小学6年の時転校してきてその頃に知り合い小学4で英語を喋っていた絵羅が色々日本語を教えたりしていたので今では親友となっている  
なお抱きつくのは懐いているだけであり恋愛感情は全くない

ファンネーム：teammates

一 伊那尔栖（にのまえ いなにす）以下イナニス種族：人？

古き神の司祭。とある日 このネクロノミコンがやばい大賞というなんだか胡散臭い本を拾ったことにより触手が生えてしまった女性

自分の意思で触手閉まつたり出したりできるので触手に対しては気にしてない

絵羅とは今回が初対面 話した事もない

ファンネーム：Tentacult / Takodachis

ちなみに絵羅の友達が作成した日本語が喋れるようになる機械（インカム型）により日本人並に日本語を喋れるようになった

イナニス「初めましてー 伊那尔栖です よろしくお願いします」

絵羅「蒼井絵羅だ 今後ともよろしくお願いします」

絵羅「あの家アメリカが住むための家だったのか」

アメリカ「そう！他の子は遊びに来ただけ」

ぐら「また会えて嬉しいぞ 絵羅」

絵羅「また何かで遊びたいな」

ぐらを撫でる絵羅 嬉しそうな顔をするぐら

カリオペ「ほんとぐらは絵羅に懐いてるね」

ぐら「もちろん♪ホームステイしたからねー☆ 絵羅のおかげである程度は日本語喋れるようになったし感謝してるぞ」

絵羅「ふふん」

カリオペ「それにしても結婚生活どうなの??」

絵羅「今もぼたんとはラブラブに過ごせているよ たまに甘えて来るの可愛いんよな

♪」

イナニス「そんな一面あるんだねー」

絵羅「配信では見れないってのもあるからね 知らなくても当然ちやつ当然なんだけ  
ど」

おかゆ「まあ僕も嫁なんだけどね」

4人「えっ」

アメリカ「まだ配信で言っていなかったの?」

おかゆ「僕は言った」

絵羅「俺はまだ」

キアラ「知らないわけだよ」

カリオペ「何人嫁に迎えてるの?」

絵羅「11人」

キアラ「多くない?」

絵羅「惚れさせるの得意だからな」

イナニス「才能かな」

絵羅「多分」

絵羅宅

絵羅 おかゆ「ただいまー」

クロエ ぼたん「おかえりー」

絵羅「今日、mythメンバーと会ったわ」

ぼたん「え マジ？みんな？」

おかゆ「そうそう 遊びに来てたんだって」

ぼたん「そうなんだ」

絵羅「うちの右隣に出来た家はアメリカの家だった」

クロエ「ほほー 今後賑やかになりそうだね」

絵羅「うむ」

## 第17話 時の獄吏

クロニー「……………ここだよね」

ホロライブ English Council組の1人であるオーロ・クロニーは絵羅の家の前に来ていた

オーロ・クロニー 種族：人間

「議会」の一角であり、神々より作られし三番目の概念「時間」の典獄にあたる

生真面目ではあるのだが一度ツボに入るとゲラったりクールなイメージとは裏腹におっちょこちよいいな人である

クロニーと初めてコラボしたJPは絵羅である

ファンネーム：Kronies

ピンポーン

絵羅「はーいつてクロニーか」

クロニー「うん」

絵羅「ちよいまち」

ガチャ

絵羅「入ってー」

クロニー「はい おじやまします」

ポルカ「お、クロニーじゃんやほー」

クロニー「あ、こんにはポルカ先輩なぜここ？」

ポルカ「お泊まりです」

クロニー「なるほど」

絵羅「んで？どうして日本に？」

クロニー「絵羅に会いに来た」

絵羅「ほう？」

クロニー「場所はファウナに教えてもらったのよ」

絵羅「そうか お腹はすいてない？」

クロニー「まったk…」

ぐうううう

クロニーのお腹が鳴る

クロニー「……すきました」

絵羅「よーし 振舞っちゃうぞ☆」

豚のしょうが焼きを作った

クロニー「美味しそう♪」

ポルカ「美味いんだよ これが」

絵羅「豚のしょうが焼きは自信ありだぞ」

3人「いただきます」

クロニー「美味しい 生姜が程よく効いてタレもいい感じ」

絵羅「俺のお父さんの味付けがこんな感じなんだよ」

ポルカ「初めて知ったわ」

絵羅「今言ったもん」

ポルカ「そうか」

お昼ご飯を食べ終わり

絵羅「クロニーせっかく来たんだしどこか」

クロニー「行く」

絵羅「即答」

ポルカ「それじゃあポルカはこれで失礼するよーん あ、後で婚姻届渡しにまたくる

ねー！」

帰ってった

クロニー「サラッと結婚してと遠回しに言いましたね ポルカ先輩」



絵羅「…ポルカなりの照れ隠し…：かな？」

クロニー「やっぱり一夫多妻なんですね 正直半信半疑だった」

絵羅「実際に言われねえとな 疑うのも仕方ないね」

クロニー「もし私が求婚したら嫁になれるの？」

絵羅「まだ海外の人との一夫多妻は協議中だからいまは無理だな

ゼータともその話してた オーストラリアとかの一夫多妻制が認められている国の人なら話は別」

クロニー「そっか なかなか難しいね でも認められてほしい」

絵羅「俺もそう思う 俺を好きになつてくれた海外ライバーもいる事だし認められて欲しいな クロニー」

クロニー「何？」

絵羅「認められたら…：どうする？ ハーレム…：入る？」

クロニー「うん 入りたい 絵羅の事好きだから」

絵羅「その時が来たら…：しような結婚」

クロニー「うん ありがとう絵羅」

この後いっぱい遊んで満足してクロニーは自国へと帰って行った

## 第18話 h o l o Xとのマキブ

h o l o X本部

いろは「……………暇でござるう……………」

ラプラス「吾輩も暇」

ルイ「全員暇」

何もやることないh o l o Xはぐてーんとしていた

こより「…なにしましょうー」

ガチャ

クロエ「こんちやーす」

ラプラス「あ、新人こんちやーす……………す」

クロエ「最終的にやる気無くすのやめい　で？どうしたの？そんなみんなぐてーんと  
してー」

ルイ「やる事がないんだよねー」

ラプラス「うむ」

クロエ「そんなことだろうと思ひ絵羅連れてきた」

絵羅「チヨリーツス！」

ドラマCD利那のテンションで言う絵羅

ラプラス「よっ!?!よす!!」

足広げでぐだーんとしていたラプラスは姿勢を正した

ルイ「姿勢治すの早っ」

ラプラス「な、なんの事だかー??」

絵羅「ふふっ、相変わらず可愛いなラプラス」

ラプラス「え、えへへー♪」

ルイ「相変わらずのタラシ具合」

絵羅「ルイ姉には言われたくないでござ候」

いろは「ござ候www」

ルイ「オモロwwwってなんで私に言われたくないのさ!?!」

絵羅「えーだつてサラツと女の子が喜びそうな言葉言うから…」

ルイ「え?みんなもそう思う???」

4人「うん」

ルイ「ガビーン（´。Д。´）」

そう思われていた事にシヨックの高嶺ルイ

絵羅「まあ、そこがルイ姉の素敵なところなんだけどね」

ルイ「あんただってサラツと言うやないかい!!!」

絵羅「うん 自覚ある」

クロエ「あるんだ:w」

絵羅「うんってことでゲーム持ってきた 完全に俺の趣味だけど」

持ってきたゲームは機動戦士ガンダム EX T R E M E V S. マキシブースト

O N 通称マキオンである

ルイ「わ ほんと絵羅の趣味」

クロエ「ガンダム知らなくても楽しめる?」

絵羅「うん ストーリーとかもないから あ、これ一目見て気に入ったってやつ使え

ば良いよ」

ラプラス「おっしやそれじゃやろーぜ」

ラプラスVS風真いろは

ラプラス「あ、吾輩こいつ見た目的に好き」

選んだのはバルバトスルプス

絵羅「格闘機だね」

いろは「風真はこれにするでござる」

選んだのはスサノオ

絵羅「こつちも格闘機だよ」

ルイ「格闘機対決か いいねえ」

絵羅「曲は俺の独断で妖気と微笑みにする 2人は準備いい？」

いろは「説明書見たからOK」

ラプラス「吾輩もOKだぞ」

使用機体

ラプラス ガンダムバルバトスルプス cost:2500

いろは スサノオ cost:2500

ルール設定

時間制限:∞

ブーストゲージ 100%

EXバースト時間 100%

EXゲージ初期値 0

EXゲージ増加量 100%

A戦力ゲージ 2500

B戦力ゲージ 2500

A ラプラス

B いろは

絵羅 「対戦スタート」

ラプラス 「うおー 動いてるだけでかつけー」

いろは 「なかなか面白い形してるでござるな スサノオ」

そしてラプラスが突っ込む

いろは 「おっと？」

避けるいろは…だが

ラプラス 「んこ こう」

攻撃キャンセルして攻撃を続けコンボするラプラス

いろは 「あいた！ブーストあれば攻撃キャンセルできるの忘れてたでござる」

焦って後格闘してしまう

絵羅 「あっ」

突然切腹し体力が削られる

いろは 「なんでっ!？」

ラプラス 「スキありー」

いろは 「てかけ…」

ラプラス「しな—い」

ルイ「後格闘って……」

絵羅「ハガクレ 切腹」

クロエ「切腹!?!」

絵羅「切腹した時に単発火力が出せる変わりに自機にダメージ入る 通常で1000  
入魂状態で150 トランザム状態で200 トランザム+入魂状態で250の自傷  
ダメージ負う」

クロエ「使い所さん間違えると敗北する…ってことだね」

絵羅「そゆこと」

そんなことを話しているうちにラプラスで試合終了

ラプラス「切腹が無かったら吾輩負けてた」

いろは「諸刃の剣とはこのことでござるな」

ルイVSこより

こより「こよ、これにする」

ガイアガンダム cost:2000

絵羅「ワンコに変形する機体だよ」

こより「へー」

ルイ「私はこれかな」

ホットスクランブルガンダム cost:3000

絵羅「強い部類に入る機体 変形もできる」

こより「ルイルイの方が強そう……」

ルイ「でもお互い初心者だし良い勝負になりそう」

絵羅「結局腕次第なもの」

こより「確かにー」

絵羅「曲はイグナイテッド」

ルール変更

戦力Aが3000

戦力Bが2000になり後はさつきと同じルール

勝負が終わり勝ったのはこより

こより「おつこよおとお」

ルイ「ぐああ 操作ミスうう」

絵羅「おおつとルイ姉操作をミスってしまい勝利をみすみす逃してしまっー!」

4人「え???」



ルイ「あつ私それ言いたかったのにー!!」

絵羅「言つたもん勝ちだよ」

最後の戦い

クロエVS絵羅

クロエ「沙花叉これにする」

アツガイ cost 1500

こより「それかわいいー」

ラプラス「乗ってんのおっさんたけどな」

絵羅「アツガイ玄人が乗るとメチャ強 ちなみに1500と2000の2種類おる」

クロエ「使い方は？」

絵羅「ちよつと性能違うだけでほぼやること一緒」

クロエ「なるほどねー」

絵羅「そんなわけで選ぶのはこいつだ」

インフィニットジャステイス（ラクス機） cost 1500

ラプラス「1500対決か」

絵羅「んじややりますか」

ルールは同じ 戦力1500

勝ったのはクロエ

クロエ「やったあああ！」

絵羅「使い慣れてないと負けるなあ…」

そんなこんなでたくさん対戦したh o l o Xと絵羅なのでした

## 第19話 あおぎり高校とコラボ

絵羅「えーと ここか！」

某日某所

蒼井絵羅はあおぎり高校にいた

コラボのお誘いを受けたので打ち合わせのためにあおぎり高校に出向いた

絵羅「失礼します」

魂子 真白 こまる「こんにちわー」

絵羅「こんにちわ、初めまして蒼井絵羅です よろしくお願いします」

魂子「音霊魂子です よろしくお願いします」

真白「大代真白だ よろしくお願いします」

こまる「栗駒こまるです よろしくお願いします」

あおぎり高校

都内のどこかにある高校

とは言っても18歳（1人自称17歳）が在学しているので一般的な高校とは違う好きな事を好きだけやるといふ心意気を重視する高校だ

音霊魂子 種族：人間

あおぎり高校の3年生「2留」

色々と内気な性格だったがYouTube活動をして行くうちに人気者になつていた

ポンコツな所が可愛い「By作者」

ファンネーム：たまっ子

大代真白 種族：人間

あおぎり高校の3年生

自称17歳

マシユマロ大好きとの事だが実際にはおビールに合うようなおつまみ系が好き

ファンネーム：ドナー

栗駒こまる 種族：人間

あおぎり高校の2年

人々に笑顔と癒しを届けるべく頑張っている

努力に勝るものなし！がモットー

ファンネーム：まろん組

絵羅「んで、コラボのお誘いということで来たんですけども…」

魂子「もちろんセンシティブなやつではなくマリオカートWiiをね やっていきいた  
いなと思っておりましたね」

絵羅「マリカーWiiか めたくそやりましたね 4つセーブデータあつてその全部  
で1位取りましたし」

真白「とんつでもねえガチ勢やん」

こまる「大負けしそう」

魂子「それな どうです？やります？」

絵羅「やるで3人に格の違いってやつを見せちやる」

真白「んじゃその時はよろしくなっ！」

絵羅「おけ」

1週間後

魂子「皆ーこんにちはー 音霊魂子と」

真白「大代真白と」

こまる「栗駒こまるでーす」

魂子「今日は！ホロライブの男性VTuberの蒼井絵羅さんと私達3人でコラボ  
でーす」

真白「では蒼井絵羅さんでーす どーぞー」

絵羅「どーもー ホロライブ初の男性VTubeの男の娘！蒼井絵羅ですー 今日は制服をロリータ改造してみた服です」

コメント「ギター（。▽。）——」 「まじで男なん!?!」

「可愛いがすぎるだろ!」「私女だけど負けた…女子力高い」

こまる「つて凄お 裁縫得意なん?？」

絵羅「下手くそだけど頑張つて作つておるのだよ!男の娘たるもの可愛さを追求せねばな!」

魂子「凄ー 可愛い!」

絵羅「ふふん」

真白「女にしか見えねえな ふふふ」

魂子「と!言うわけで今日のゲームはマリオカートWii——」

4人「いえーいーい!」

魂子「マリオカート8DELUXEもちろん楽しいんですがこつちもだいぶ面白かったので今回のコラボでやろうと思つておりました」

こまる「打ち合わせで聞いたんだけど4つセーブデータ作れるゲームなんだけど4つとも全部1位取つたんだってー」

コメント「すげー」「暇人だったのか?」「友達は…?」

絵羅「友達はおるわw 友達と遊ぶときはマリカじゃなくて他のゲームだったんで必然的に1人で楽しんでたわけさね」

魂子「なる よーし！それじゃマリオカートWiiやっていませよー」

こまる 絵羅 真白「おーー！」

音霊魂子

キャラ ポステレサ

カート トリツキー

大代真白

キャラ ヨツシー

バイク ポロネーズ

栗駒こまる

キャラ カロン

カート ブルーファルコン

蒼井絵羅

キャラ ルイージ

バイク マツハバイク

NPCあり

NPC強い

コースシヤツフル

アイテム ノーマル

走るコース16

絵羅「私の愛馬は凶暴です」

真白「こつちも凶悪だが？」

胸持ち上げる真白

絵羅「あーはいはいそうでつかー」

あしらう絵羅

真白「色仕掛け決まんないかー」

こまる「そもそも絵羅さんにはたくさんの嫁さんいるんですからあの程度の色仕掛け

で落ちないと思う」

魂子「確かに 嫁の色仕掛けなら効きそうだけど」

真白「配信だからじゃなくて？」

絵羅「配信外でも効かんぞ」

真白「そっかー」

絵羅「あ、言い忘れてたんだけど嫁さんが…15人います」



コメント「「な、なんだってえー!!?」」

「多いわ!」「モテモテやんけ 羨ましい」

絵羅「えっへっへ」

コースはシャツフルで何が来るか分からない

絵羅「シャツフル1回目:」

真白「選ばれたのはマリカWiiのレインボーロードでした」

そして16走り終わり

絵羅「楽勝」

絵羅1位

魂子「うわーん」

魂子8位

真白「うっし!」

真白4位

こまる「ぐぬぬぬ」

こまる10位

真白「負けたけど楽しかったー」

こまる「NPCが強すぎた」

魂子「びえん」

絵羅「やはりハンドルはいい（\*´ω´\*）」

コメント「圧倒的ではないか」「つよつよ君」

魂子「というわけで今回はここまでお疲れ様でした！」

4人「ばいばーい」

あの後打ち上げに行きコラボお誘いありがとうという事で飯を奢った絵羅だった

## 第20話 妊娠

某日

アンジュ「……………うー」

気だるそうに机にべたーんとしてるアンジュ

絵羅「どしたンジュ」

アンジュ「眠いし体がだるいんすよー」

絵羅「なんか変なの食った？」

アンジュ「ちやうわ なんか原因わかんねんだよお」

絵羅「…ふむ ワンチャン妊娠の兆候ありか…」

アンジュ「えっ？ そんな??」

絵羅「体がだるいとか眠くなるとか妊娠してるかもしれない兆候だつてネットで調べた あとはなんかある？」

アンジュ「んー ○首がチクチクする 御手洗近くなってる」

絵羅「あ、生理は？」

アンジュ「…そういえば前回から5週間は立ってるんだよな…」

絵羅「病院行く？」

アンジュ「行く」

アンジュの配信にて

アンジュ「おまたせ、待った？アンジュ・カトリーナだ 今回はずっとも大事な話がある」

緊急報告という配信タイトルにザワつくコメント

コメント「なんやなんや」「ワンチャンあるで」

アンジュ「実はな…うち妊娠した」

コメント「まじかアアアア」「おめでどう！」

アンジュ「やったぜ！ちなみに私が1番目に妊娠した」

コメント「おおお」

アンジュ「だからちよい配信するの少なくなるよ また休暇とる時はまた教えるね」

配信終わり

次の日

クロエ「…今日病院行ってきた」

ぼたん「なんで?？」

クロエ「妊娠してるか確かめるためにです そしたら」

ぼたん「そしたら??」

クロエ「妊娠しました」

ぼたん「おー よかったやん」

クロエ「気だるい日が続いてたんでももしかしたら…って行って良かった」

クロエも妊娠したことを報告した

絵羅「アンジュとクロエが妊娠ですか…ふふ」

アンジュ「妊娠してないのにねえ でも嬉しいな」

クロエ「食生活見直さなきゃねー」

アンジュ「あとはベビーカーとかガラガラとか用意せな」

絵羅「それな」

赤ちやん用品を買いに来た絵羅達は必要な物を買った

絵羅「これでよし」

アンジュ「これで慌てずにすむね」

絵羅「そうだねえ」

クロエ「とりあえずいつ産まれるか楽しみ」

絵羅「だな あとは先に子供産んだ先輩に聞くか」

クロエ「みこ先輩だね 交際初日で初夜迎えてその日から5週間後検査したら妊娠発

覚してもんね」

絵羅「んじや時間が取れる時に教えて貰おう」

2人「はい」

3日後 絵羅とクロエはお仕事中

アンジュはみこと千賀の家に居た

みこ「怪我しない大切なのは子供が当たっても良いように角は柔らかいスポンジとかで守つたり誤飲しないように細かいものはしつかりと容器とかに入れておくとかねいろいろあるにえ」

アンジュ「ほえ、實際育ててみてどう？」

みこ「まあ：イラツとすることもあるけどとにかく息子が可愛くて仕方がない 辛い事あつても笑顔で癒されるとかある」

アンジュ「ほむほむ：勉強になつたわ ありがとうな」

みこ「いえいえー なんか困つたらみこに任せろ」

千賀「こういう時つて頭良いんだよなみこち いつもこうあれば…」

みこ「おだまり千賀」

アンジュ「…ふふ ではまた遊びに来ますね」

さくら夫婦「はい」

アンジュ「いやはや為になつたから 絵羅とクロエさんに教えなくては」  
その夜はみこが教えてくれた事と自分達で子育てに調べまくつた

## 第21話 人外ーズ

絵羅「今日は何しよー」

何をするか考えながらあるいていると

??? 「捕まえろー!」

絵羅「え?」

後ろから黒服の男達が迫ってきてた

絵羅突然の事に動けず拉致られた

絵羅「ア—————」

とある屋敷

!!!!!!」

絵羅「ここどこ?」

目覚めた絵羅は部屋に連れられていた

絵羅「なんで拉致られたんだ俺…?」

?? 「目覚めたね!」

絵羅「お、お前はー!?!」

ギルザレン「ふふふー」



絵羅「ギル様何故？」

ギルザレン3世 種族：吸血鬼

全く配信しないかなりライバーの中で特殊な活動をしている吸血鬼

本来吸血鬼にとつて弱点であるニンニクや十字架が平気

ファンネーム：ケンゾク

絵羅「んで何故俺は拉致られたんだよ？」

ギルザレン「(ひ・ω・ま)」

絵羅「要するに遊びてえんだな！直接言いに来いよ」

ギルザレン「(〃>▽<)ゝてへ」

!!!!!!

りりむ「あ、絵羅こんちつすー」

絵羅「りりむ、こんちつすー」

魔界ノりりむ 種族：悪魔

魔界からやってきた悪魔の子

何かしらの使命があつたはずだが忘れてしまい今ではゲームに興じている

本名はリリム・キスミー・ラプリーハート||ロリータニア

ファンネーム：隠キヤバス

りりむ「何故連れてきたの分かる??」

絵羅 「暇だったのか？」

りりむ 「うん」

絵羅 「なら普通に誘えよ」

りりむ 「趣向凝らした方が良かったとおもった」

絵羅 「はたからみたら誘拐だからな」

りりむ 「すまそ」

しばらくして

絵羅 「んで何して遊ぶん」

ギルザレン 「ガンブラ」

絵羅 「おけ 何作るのん」

ギルザレン 「HGのデスサイズヘル」

りりむ 「HGのソードインパルス」

絵羅 「んじゃ俺は…おつデステイニーやん これ作ろ」

りりむ 「デステイニー好きなの？」

絵羅 「大好き インパルスとかデステイニーインパルスとかデステイニーが好物なん

よ」

ギルザレン 「相当あいしてるんやな」

絵羅「おうよ」

作業部屋へ

絵羅「うわすげ　ほぼ道具揃ってんじやん」

ギルザレン「たまに人呼んで作ったりしてるから道具揃ってきたのよね」

絵羅「マジかよw　んじや早速作らせてもらうぜ」

りりむ「りりむは初挑戦なので教えて欲しい」

絵羅「おけ」

数時間後

ギルザレン　りりむ「出来たー！」

絵羅「うんゲート処理上手く出来てるし初めてにしては上手いぞりりむ」

りりむ「わーい」

この後は塗装せず飾る

絵羅「また増えたな　ガンプラ」

ギルザレン「まだ部屋あるので無問題」

りりむ「とんでもなくでかいからねー」

絵羅「まあ、とりあえず楽しめたありがとう」

ギルザレン「次は普通に呼ぶぞ」

絵羅「そうしてくれ事件か!?! って思っちやうからな(?!▽?!:;)」  
絵羅は家に帰った

## 第22話 おや？鷹嶺ルイの様子が……？

ルイ「……………はあ」

ペこら「ルイちゃんどうしたぺこか？」

ルイ「あ、ぺこら先輩」

兎田ぺこら 種族：獣人（兎）

髪の毛に人参さしている兎

イタズラ好きで良くマイクラでイタズラを仕掛けたりドツキリ仕掛けたりする  
笑い方が特徴的ひなのやりサとタメ張れるぐらい

フアンネーム：野うさぎ同盟 略して野うさぎ

ぺこら「悩みあるなら言ってみるぺこよ」

ルイ「じゃあ…絵羅を誘おうかと思いましたが…行く場所を考えてます」

ぺこら「そうぺこか…なら、ぺこちゃんにいいアイディアを教えてやるぺこ」

ルイ「なんですか？」

ぺこら「実は…ゴニョニョ」

ルイ「なるほど早速やってみます」

ぺこら「頑張るぺこー」

ルイはアイディアを聞くとそうそうに事務所から出ていく

ぺこら「……今回はルイちゃんに譲るぺこ。つか絵羅は何人向かい入れるぺこか??

聞いてみよ」

メールで聞いてみるぺこら

ぺこら「金銭面大丈夫ぺこか???

3日後

絵羅「1時間早めに着いてしま…お?」

目線の先にいたのはルイ

絵羅「おっはよーー」

ルイ「おはよう」

ルイの私服は藍色のジャケットと臙脂色スカートと黒のスニーカー

絵羅は水色ワンピースと水色のパンプスと水色の帯がついたカンカン帽子

ルイ「え、まって絵羅の方が女子力高くない???

絵羅「へへへ」

そんなこんなで合流

雲は多少多い

絵羅「状況次第では早めに帰らなくてはならないな」

ルイ「だねー」

絵羅「ということで早速行こうか」

ルイ「ok」

遊園地に行く2人

絵羅「いやー まさか遊園地ペアチケット当たるとは思ってたさ しかも当日券  
誰と行こうか迷ってたんよね」

ルイ「なるほどつまりベストタイミングだったと」

絵羅「そゆこと…他の面々 主に嫁さん達だけ予定全員入ってた」

ルイ「へー ま、今回は楽しむぞー」

絵羅「おー」

まずはコーヒーカップ

ルイ「おわーーーーー!!!」

絵羅「やっぱ回すの楽しー!!!」

ルイ「分かるけどおおおあーーー!!!?」

ちよつと休憩して

お化け屋敷にやってきた2人

ルイ「は、入るの……?!」

絵羅「入るよ 怖い?」

ルイ「へっ、へへ平気だし!」

絵羅「なら行こー」

ルイ「あつ待つて」

中に入った2人

絵羅「お化け屋敷初めてだからどんな驚かせ方あるのか見て見たかったんだよねー  
楽しみ」

ルイ「そつ、そうですね」

お化け役A「ぐおー!!」

ルイ「ちよわー!?!」

絵羅「わお」

少し進み

ルイ「……」

絵羅「井戸あるね」

ルイ「絶対中からグワーツとくるんや…」

案の定中から上に貞子のような人形が出てきた



ルイ「やつぱりいいいいいい!!」

怖さのあまり絵羅の腕に抱きつくルイ

ふにゆんとルイの胸が絵羅の腕に当たる

絵羅「(柔けっ) 大丈夫?」

ルイ「だだだだ だいじよばない」

出口が見え

ルイ「早く出よっ」

絵羅「おけ」

出ようとしたその時コケるルイ そしてそれに引つ張られて

絵羅「やっべ」

受け止めるものの足滑らせ倒れた

絵羅「っ!」

ルイ「あっ」

顔が近くあわやキスするところだった

絵羅「大丈夫か? ルイ姉」

ルイ「だ、だいじよば」

お化け屋敷の外に出たふたり

ルイ「危なかった……不倫になるところだった……」

絵羅「お、おう」

お互い気まづくなり景色を見ようということ観覧車に2人は乗る

絵羅「綺麗だなー」

ルイ「そうだね」

夕日が眩しい町が見渡せる位置まで来ていた

ルイ「……」

絵羅「……」

沈黙が流れる

ルイ「あのさ」

絵羅「ん?なんだいルイ姉」

ルイ「ハーレムってどれぐらいつまで規模増やす気なの??」

絵羅「ぼたんがこれ以上お嫁さん増やさないでって言われるまでかなあ さすがに限

度あるし……全員お嫁さんにするのは難しいね お金も結構必要になってくるから」

ルイ「へー まあそれはそうだよね」

絵羅「だから今のところはまだ増えるよ」

ルイ「そっか……あの……」

絵羅「ん？」

モジモジするルイ 顔が赤い

ルイ「私…絵羅の事好きになったの」

絵羅「っ!？」

予想してなかったその告白にびつくりする絵羅

ルイ「びつくりしたよね…でもその…この気持ちはほんとなんだよ」

絵羅の隣に行き手を取る

ルイ「だからね？ハーレムに加わせて貰ってもいいかな？大好きなの!!」

絵羅「もちろんいいよ ふふっ 宜しくねルイ」

ルイ「うん！」

観覧車が4分の3終わったあたりで2人はディープキスをした

ルイ「今日は楽しかった！ありがとう」

絵羅「どういたしましてそれじゃ帰ろっか」

なお休みを取って遠いところに行ったのでホテルに止まった2人

もちろん行き先は…：ラ○ホであるのだがそこで何が起ころかは秘密です

## 第23話 大代真白の新衣装

高嶺ルイと恋仲になってから1週間後

真白「こんちゃーっす」

次の服を作るための素材の買い物をしていると遠くから真白が現れた

絵羅「こんちつす 奇遇だな」

真白「うん 何してんの?？」

絵羅「配信用の新衣装作るんだー」

真白「裁縫得意なんか!!？」

目を輝かせる真白

絵羅「そうだよ この服も自作だよ」

和風のロリータファッション 通称和ロリである

絵羅の服はほとんどが自作である

得意になったのは亡くなった母親に裁縫を教わっていたからである

絵羅「亡くなった母さん直伝の裁縫技術と努力の結晶だよ 感謝しかないね」

真白「素敵な親だったんだ」

絵羅「うん」

眩しいくらい笑顔

真白「そうだ！そんな絵羅に依頼したいんだけど！」

絵羅「何かな カフェで話そか」

真白「おうけい！」

近くのカフェへ

絵羅「それで依頼内容はどんな感じで」

真白「実はな 新衣装作ってくれへんかって依頼」

絵羅「ほほう よしそうと決まれば衣装案を俺の家で出していこう」

真白「おっけ」

カフェで昼食取ったあと

絵羅宅

絵羅「ではどんな感じで行きましょう」

真白「うん 上半身は……」

何日かに分けて衣装について様々な意見を出し合いついに完成した

真白「うおーー めっちゃ可愛いなー!!!」

出来上がった衣装のラフを見てテンションが上がる真白

絵羅「あとはこれを作るだけだ」

真白「頼むぜ！」

絵羅「ok」

数週間

絵羅宅

真白「試着しに来ましたー」

絵羅「よ」

着てみる

真白「若干胸きついけど他はいいね」

絵羅「まあポロリはしないようにはしてる」

真白「ありがとう で……その」

絵羅「ん？」

真白「……可愛いかな??大代」

絵羅「可愛いに決まってるさ 普段の真白の服の時も可愛いけどな」

真白「ありがと…(照れ) 依頼金はどれくらいだ？」

絵羅「ざっとこんな感じ」

真白「もつと高いかと思ってた」

絵羅「友達価格だよ　ほんとはもちっと高いから」

真白「なんと」

絵羅「とりあえずこれでいいな？」

真白「おっけー!!感謝感謝」

2週間後

大代真白新衣装配信お披露目配信

真白「こんばんはー　大代真白だーぞ!!!　今回はなあ初めての新衣装お披露目ということので緊張しておりますってことで早速チラ見せしつつ新衣装お見せするよー」

場に出る新衣装大代

真白「どうよ!!この服!!」

コメント可愛いが沢山表示され赤スパまで飛んでくる

真白「うおっ!!赤スパあー!!」

いつもの赤スパ芸をする

真白「いやー　ほんとにありがとう　ちなみにデザインと作ってくれたのはあの一男  
性ホロライブの蒼井絵羅さんなんですよ!」

コメントザワつく

コメ「マジでか」「まじかよ!!」「歌も上手いし裁縫も上手いしデザイン良いし最強か

？」

真白「ほんと協力してくれた絵羅には感謝感謝」

そんなこんなで大代真白新衣装お披露目配信は成功を収めた

打ち上げ

真白「いやー 大好評だったなー うしし」

絵羅「そうだねえー 頑張った甲斐があつたというものだ」

2人で絵羅宅で家飲みをしている

絵羅はアサヒビール（銀色のやつ）を

真白はガソリン×ビールの隠語×（飲んでるのはキリンビール 一番のやつ）を飲ん

でおりおつまみとしてファミリーマートのスパイシーチキン 枝豆である

真白「改めましてデザインや制作の依頼を受けて下さりありがとうございます どうございました」

絵羅「いえいえこちらこそ楽しい裁縫が出来てよかったです」

真白「win-winだったね」

絵羅「うむ」

真白「それでさ……」

絵羅「うん？」

真白らしからぬ態度



真白「まだハーレム募集してる?」

絵羅「募集つっより告白してくるたらその都度お嫁さんに迎えるってスタンスだよ  
まああと一人告白されたら一旦嫁さん作るの区切るけどな お金が不安になってき  
た」

真白「そうか……だったら思いの丈言っついていいか?」

絵羅「ん?」

真白「大代な……初めて会った時から絵羅の事気にはなってるな」

絵羅「うん」

真白「どんな人なんだろうかってずっと気になってこうして友達として仲良く過  
してたじゃん」

絵羅「そうだね」

真白「でも、今は……違う」

絵羅「違う?」

真白「絵羅を……蒼井絵羅という男を好きになつてた」

驚きつつも絵羅は真つ直ぐに真白を見ていた

真白「だから大代もハーレムに加えてください 好きだ」

絵羅「……歓迎するよ 大代」

真白「ありがとな」

絵羅「これから恋人としてよろしくお願いします」

真白「ああ！よーし！そうと決まれば飲むぞー！！！」

絵羅「おー！！！」

この後テンション上がって飲みすぎて揃って二日酔いした

## 第24話 ハーレム一旦締切

絵羅「というわけでー一回ハーレム作りを締め切ろうと思います」

ポルカ「ほほう？」

ゼータ「え？なんでー？」

絵羅「今の状態で増えるとあまりイチャイチャ出来てない人とか出てきてるしゼータとかクロニーとか海外の人達特に出来ないでしょ」

ゼータ「あーなるほどですね」

ベスティア・ゼータ 種族：人間

シークレット・アーカイブ・ユニットの構成員

コードネームはV・7

可愛い外見と声そして毒舌な性格と可愛いを詰め込んだかのような女性

髪型は独特であり原神の刻晴みたいなたけのこ付き

可愛い

ファンネーム：Z e c r e t a r y

ゼータ「そうそう これは朗報なんだけどね 私の住んでる国でね 一夫多妻制が出

来たよ」

絵羅「めでたい」

ポルカ「……………それだけじゃねえ 中国と北朝鮮以外一夫多妻制認めている」

ゼタ絵羅「なんやて工藤！」

ポルカ「誰が工藤ヤーツ!!! まあめでてえな」

ゼタ絵羅「そうだね」

そんなある日

あくあ「ねえねえ」

絵羅「なんだ? あくあ」

あくあ「ご主人様ってハーレム1回増やすの辞めたんでしょ??」

絵羅「そうなるな」

あくあ「告白されたらどうするの?」

絵羅「告白してくれた人をメモる」

あくあ「なるほど 再開した時にすぐ迎え入れるようにしてるんだー」

絵羅「無下にはしたくないんでな」

湊あくあ 種族：人間

メイドであるのだがおサボりしたり何かしらやらかしたりするドジっ子メイド

APEXでソロマスを達成し最初で最後のAPEX最協バトルではソロになった後の戦いでほぼ全員を驚愕させる程の実力を持つ

ファンネーム：あくあくクルー

あくあ「そつか…休止中にどれくらい増えるか楽しみになったね」

絵羅「そうだな」

あくあ「あ、そうだ 今度エペコラボしない？1度2人でやってみたい」

絵羅「おけ やろう 俺もやりたかったし」

あくあ「えへへー じゃあ日程は後で伝えるね!!」

絵羅「おけー」

約束を取り付けた、あくあは帰った

絵羅「さて、たまきのところ行くか」

たまき宅

みしろ「はい お茶です」

絵羅「どうも」

飲む

絵羅「ふーお茶が美味し♪」

みしろ「貴方はマイメロですか」

絵羅「バレたか」

みしろ「モノマネしてましたもん」

絵羅「えへっ」

白雪みしろ 種族：獣人（犬）

のりプロ清楚枠の女の子

メイドで食事や家事などが得意でありどつかのおサボリメイドとは違ったスペックを持つ

清楚とは自分で名乗らず相手に言われた時のみ清楚と言う

下ネタには敏感で犬山たまきが下ネタを言いそうになるとサツと遮ったりと頼れる

メイドなのである

絵羅とは犬山たまき経由で知り合う

ファンネーム：ゆきんこ

たまき「んで何しに来たの？」

絵羅「遊びに来た」

たまき「つまりセツ」

みしろ「言わせませんよ??？」

たまき「読まれた」

絵羅「そらそう」

この後遊び（意味深）をたまきとしたのは別のお話し

## 第25話 ウーバーござるwith蒼井絵羅

風間いろは&蒼井絵羅コラボ配信☑いろは粋のみ☑

いろは「久しぶりにウーバーござるやるでござるー!」

絵羅「いえーい」

久しぶりにウーバーござるをやる風間いろは

絵羅「何を作るでござるかー?」

いろは「フオンダンシヨコラでござる」

絵羅「得意分野の1つキタワア——(n, v, ) n——

いろは「マジでござるか」

絵羅「しかも簡単に作れるレシピあるからそれ見ながら作りましょう」

いろは「はい」

コメント「絵羅に頼んだのマジ正解だわ」

「絵羅やござるのは他のホロメン大好評だったから神コラボ」

コメ綾人「絵羅のデザートは美味いぞ お父さん保証する」

絵羅「おwとwうwさwんw」

!!!!



いろは「ガチで絵羅殿のお父さんでござるなあ！w」  
コメント「うわガチや」「ここにも来るんだ」

「どうかだいたい絵羅が出る配信には顔出してよ」

絵羅「あ、そうなんだ 気づいてなかったわ」

コメ綾人「待機画面にコメしてるからww」

絵羅「なるほどな 知らんわけだ」

いろは「絵羅のお父さんが密かに見てたのが分かったところでフオンダンスヨコラ  
作っていくでござるー」

絵羅「では作ります」

絵羅「まず型を使います」

いろは「はい」

絵羅「で、型の内側にバターを塗りそしてクッキングシートを貼っつけます」

いろは「はい」

絵羅「ココットでもいいしセルクルでも外れれば問題なし」

いろは「風間は薄力粉と砂糖をふるうので」

絵羅「チョコとバター湯煎するね」

いろは「了解でござる」

絵羅「溶けたので混ぜていくで」

いろは「溶いた卵にふるいにかけて薄力粉と砂糖を少しづつ入れていくでござる」  
絵羅「両手を使ってやるのが大変なときは二く三回に分けて混ぜていきましよう」

いろは「ダマが無くなったら2回に分けてチョコとたまごを混ぜるでござるー」

絵羅「よし 出来たので型に流し込みます」

いろは「ここから本番でござるな」

絵羅「あとは焼き加減を上手くやらねば」

オーブンで焼く

絵羅「……焼き加減オールOK！」

いろは「直ぐに外すでござる」

クッキングシートを外し型を取る

絵羅「割って中身を見ましょ」

見事の中がトロリとしており成功した

絵羅「完成！」

いろは「どんだん作るでござるー♪」

2時間後

絵羅「いやー 沢山作ったねえ」

いろは「明日にでもウーバーござるをするでござる」

絵羅「おうけい　じゃあ頑張ったご褒美にはい」

はいあーんの体勢

いろは「……あーん」

パクン

いろは「美味しいでござる」

絵羅「よし」

コメント「ナチュラルにはいあーんしたぞ」「絵羅君やり慣れてるな」

いろは「お返しだ」

はいあーんするいろは　顔赤い

絵羅「あむ　美味しー　さすが俺といろはだな」

いろは「そ、そうでござるな／＼／＼」

コメント「たらしだ」「ルイ姉並にたらしだ」

いろは「たらしとか言われてるでござるよ?」

絵羅「うん　自覚してる」

いろは「タチが悪いでござる」

コメント「自覚ありたらしww」

絵羅「というわけでウーバーござるの準備配信でした」  
いろは「みんなも覚えて作ってみてね」

絵羅「それじゃ」

2人「バイバイでござるー」

次の日 ウーバーござるは大盛況

この後いろははハーレム入りを決意するのだった

## 第26話 ガンプラ仲間増やし

絵羅のガンプラ作業部屋 「最大作業人数6人」

絵羅の家の3階はガンプラを置く場所と大勢でガンプラが作れるような部屋の2つしかない

絵羅 「嫁さん増やすのやめてから1ヶ月たちましたねえ」

とこ 「もうそんなに経つん？早いねえ」

クロ 「早すぎんだろ」

フブキ 「ほんとだねえー いつまでお嫁に増やさないようにするの？」

絵羅 「んー ある程度までお金貯まったら…って感じだな」

アンジュ 「いつまでかかることやら」

絵羅 「少なくとも3ヶ月後だなー ガンプラ買うのも控えないと」

クロ 「昨日大量買いしてたな」

フブキ 「何買ったの？」

絵羅 「ほい」

買った物

H G ガンダムエアリアル（改修型） H G ガンダムルブリス

H G ガンダムルブリスソーン H G ガンダムルブリスソウル

M G E X ストライクフリーダムガンダム H G ミカエリス 2個

H G B F ダブルオーシアクアンタ 3個 H G B F トランジエントガンダム

H G C E デステイニーガンダム 2個

アンジユ「シアクアンタ3個は草」

絵羅「3店舗回ったわ 大変だった」

とこ「このM G E X欲しかったんよ まだアニメは見てへんけど見た目でビビッと来た」

クロ「なるほどな アニメ見てなくてもかつこよさや可愛さで触ってみようかって人いるからな」

絵羅「そうそう というかガンブラ作ったことあるの？」

とこ「あるよー H G C E インフィニットジャステイスとH G C E デステイニーとM G ダブルオークアンタぐらいだけだ」

絵羅「なら心配しなくていいな それじゃどれがいいかそれぞれ選んでくれ」

クロ ルブリスソーン フブキ ルブリスソウル

とこ ストライクフリーダム 絵羅 デステイニー

アンジュ トランジエントガンダム

絵羅「それじゃ始めよう」

アンジュ「えーと ゲートつて部品より少し離して切った方がいいんだっけか」

絵羅「合ってる」

アンジュ「うし」

クロとフフキとここは慣れているため絵羅はアンジュに付きつきりで教えている

絵羅「素組みでも不格好でもまずは完成させよう」

アンジュ「おうよ」

数時間後

絵羅「できたみたいだしそれぞれのガンプラの好みのところ言ってくれ」

クロ「じゃあ私から黒色を主軸に細部には白を使っている フフキと色合いが対なるようにしている」

フフキ「クロちゃんが言った通り対になるように基本色は白色にしてるよ あとクロちゃんガトリングが好きだから射撃武器交換したよ」

とこ「うちは基本的には初期衣装の色合いで少しリゼとンジュの色を織り交ぜたカラーにした 右の翼がリゼで左の翼はンジュの色」

アンジュ「私は初心者だからなるべくランナーの跡がないようにしてるのとデカール綺麗に貼ること重視にした」

絵羅「俺はシアクアンタ色にデステイニーを塗って犬耳つぼいのスクラッチしてつけた アンジュのやつ見ながらだと大変だったわ」

フブキ「思い通りの結果になって良かったですね」

アンジュ「たまには作ろうかな 楽しかったし」

絵羅「ガンブラ仲間増えたー」

クロ「またやろうな」



## 第27話 姉街

とある昼下がり

姉街「こんにちは 絵羅君！」

絵羅「あらー お久しぶりですー こんにちは」

絵羅が散歩をしていると同じく散歩していた姉街と遭遇した

姉街「ほわー 可愛い服だねえーー すいちゃんから聞いてたけど女装趣味なんだね」

絵羅「可愛さの追求には余念がないのさ」

姉街 種族：人間

星街すいせいの姉である

本名はあるのだが名前は秘密なので皆から姉街と親しまれている

姉街「良かったら一緒に散歩しようよ ダメ？」

絵羅「いいぞ断る理由が無いし」

姉街「やたんじゃ行こっ？」

しばらく歩いたあとクレープの移動販売があったので絵羅はいちごクレープを姉街

はブルーベリークレープを公園で休む二人

絵羅 「いちごクレープー♪」

姉街 「ほんとにいちご好きだよね」

絵羅 「いちご愛してるってぐらいにはね 定期的にパクパクですわー」

姉街 「ふふ 可愛い そういえばさ」

絵羅 「何ー」

姉街 「すいちゃんとは上手くいつてるの？」

絵羅 「なして??」

姉街 「だつて噂だよ? 最近すいちゃんと絵羅君いい感じだつて」

絵羅 「まじ?」

姉街 「まじ」

最近はすいせいとつるむ機会が増えてはいるが別にお互い好きという感情はない

絵羅 「いやー お互い好きって感情ないしなー」

姉街 「あー やっぱりー? なんかそんな感じはした」

絵羅 「すいちゃん、みこちの事好きだったんだからそれは(ゞノ・▽・ゝ) ナイナイ

W

姉街 「なるほどねー あ、そつちのクレープ一口ちようだい」

絵羅 「んじやそつちのクレープも一口くれ」

姉街 「はーい」

食べさせ合いをする絵羅と姉街

絵羅 「そういやミックスベリーを食べると幸せになるってロマンチックな噂があるんだってさ」

姉街 「……………恋愛的な？」

絵羅 「かもなー……………あ」

2人は自分達がしたこと顔に顔を赤らめる

絵羅 「ま、まあ幸せの意味なんて色々あるし！」

姉街 「私は……………恋愛的な意味でも……………」

小声で言う姉街 聞こえてはいたのだが知らないフリをする

絵羅 「なんか言った？」

姉街 「な、なんでもない！あはははは」

絵羅 「そか」

2人は自由気ままに散歩して解散した

星街家

すいせい 「お姉ちゃんおかえり」

姉街「ただいまー途中で絵羅君にあつたよー」

すいせい「何話したの？」

姉街「すいちやんと絵羅君が良い雰囲気になつてゐるって噂してるよーって」

すいせい「えっ!?!そんな噂なつてんの?!!確かに一緒にいる時多いけど」

姉街「絵羅君もいやいやそれは(バノ・V・ゝ)ナイナイって」

すいせい「だって私みこち好きだもん」

姉街「そっかー」

その夜 姉街はいあーんしてもらいあーんをしたという事実には悶絶していた

## 第28話 双子のワンワン

新しく海外勢のホロライバーが増えてさらにホロライブが賑やかになってきた  
そんなホロライバーの中にはリアル双子である2人のワンコがいた

そんな双子ホロライバーである2人は日本にそしてとある人物に会いに行く  
フワワ「ここだー 絵羅さんの家ー」

モココ「事前にアポは取ってあるから安心だね」

そんな2人は蒼井絵羅がデビューしてから古参リスナー

フワワ・アビスガード 種族：犬

イタズラしすぎて大監獄『The Ceil』に投獄されてしまったワンワン  
だけど脱獄してホロライブに入りました

つてかホロライブ懐深すぎやろ脱獄犯デビューさせるとか

まあ：投獄理由がイタズラが度を超えていた為：とかいう罪状だからこそ入れたんだらうけども

なお、お胸の装甲がモココとは違ってデカイしふわつとしてるのがフワワ  
ちなみに好きな言葉は夜這い

本人曰く文通から始まるLoveロマンスうんぬんかんらしいが結局のところエッ  
するのは変わらない

モココ・アビスガード 種族：犬

イタズラしすぎて大監獄『The Cell』に投獄されてしまったワンワン  
だけ脱獄してホロライブに入りました

ホロライブ懐が（ry

フワワとは違い胸部装甲が平坦

姉妹は耳やしっぽを触れるのは禁止との事  
双子であるがゆえたまに動きがシンクロする

ピンポン フワワはインターホンを押した

るしあ「いらっしやいなのです」

フワワ「るしあさんだー」

モココ「初めまして」

るしあ「初めましてー さ、はいって」

フワワ「はーい」

絵羅「いらっしやーい」

モココ「本物だあああ！」

フワワ「可愛い」

絵羅「照れるねー」

その後自己紹介をすませた

絵羅「そういや2人は耳とか尻尾触られるのダメなんだっけ」

フワワ「そうですね でも」

モココ「絵羅先輩ならいいですよ」

絵羅「え? いいの?」

るしあ「羨ましい」

フワワ「ホロライブに入ったきっかけが絵羅先輩なのです 男の人でこんな可愛い人

がいるんだと衝撃を受けました」

モココ「トークも上手くてゲームも上手くてかっこいいなとも思いました」

フワワ「そんな絵羅さんにお礼として触らせてあげたいんです」

絵羅「マジか それは嬉しいな 早速いい?」

フワワ「はい!」

るしあ「触り心地を聞かせてくれです」

フワワの尻尾を触ってみる

絵羅「名前のおり毛並みふわつとしてて顔うずめなくなるわ」

フワワ「えへへ」

モココの尻尾を触る

絵羅「こっちはモコってしておる」

モココ「生まれてから少しして毛並みがモコってしてるからモココって名前になったんだよ フワワも理由としては似た感じ」

絵羅「なるほどねー ありがとう」

ケーキを食べお菓子を食べお開きに

フワワ「手作りケーキ美味しかったです」

モココ「パティシエになれそう」

絵羅「ふふ 嬉しいね また会おうね」

フワモコ「はい！」

帰ったフワモコはゲリラ配信をして絵羅との会いお話ししたことを話した

もちろん 絵羅に耳や尻尾触らせたことは伏せて

次回に続く